

Rebro2024 リリースノート

(株)NYKシステムズ

I. インストール方法

Rebro2024はRebro2023とは別の環境にインストールされます。Rebro2023がインストールされていれば、Rebro2024の初回起動時に、Rebro2023の設定を引き継ぐか、Rebro2024の内容にリセットするか選択できます。Rebro2023の設定を引き継ぐ場合でも、Rebro2024で増えたレイヤー、材料サブセットを追加することができます。

〈Rebro2024のインストール〉

- ①インストールメディアをパソコンのメディアドライブにセット、もしくは弊社ホームページ[ダウンロード]-[インストーラー]からインストーラーをダウンロードして「RebroInstaller.exe」を起動します。
 - インストールメディアはスタンドアロン版/ネットワーク版で共通です。
 - レンタル版は弊社ホームページからインストーラーをダウンロードします。
 - インストールメディアの場合、OSの種類によって「RebroInstaller.exeの実行」か、「フォルダーを開いてファイルを表示」か確認がありますので、「RebroInstaller.exe」をクリックしてください。
 - 図面ファイル(*.reb)への拡張子連動はRebro2024に切り替わります。切り替わらない場合は、エクスプローラーで図面ファイルを選択し、右クリックの「プログラムから開く」の「別のプログラムを選択」からRebro2024を選んでください。
 - 以下の外部ファイルも、「プログラムから開く」でRebro2024が選択できます。
DXFファイル(.dxf)、DWGファイル(.dwg)、JWWファイル(.jww)、BE-Bridgeファイル(.ceq)、IFCファイル(.ifc)
Revit専用レブロリンクファイル(.RebroLinkFromRevit)、InfiPoints専用レブロリンクファイル(.RebroLinkFromInfiPoints)

②Rebro2024の初回起動 《設定の取り込み》

- Rebro2023のバージョンがインストールされているWindowsアカウントで、初めてRebro2024を起動したとき、設定を取り込むための確認ダイアログが表示されます。設定の取り込みはアカウントごとにおこなわれます。
- 取り込まれるものは、設定、ユーザー部材、メーカー提供部材、ユーザー記号、ライブラリです。設定は[ホーム]タブ-[設定]の内容すべてです。
([配管][ダクト][電気]タブの右端にある[設定]リボングループは、各図面が記憶しているため、図面を開いた時点で自動的に取り込まれます)

③Rebro2024の初回起動 《アクティベーション》

- 初めてRebro2024を起動したとき、アクティベーションが行われますので、インターネット接続が必要です。インターネットが接続されていない場合、5回まで起動できますので、その間にインターネットに接続してください。
※アクティベーションとはインターネットを通じて、ライセンスを有効化する仕組みのことです。

〈Rebro2023のアンインストール〉

- コントロールパネルの「プログラムと機能」から「Rebro2023」をアンインストールしてください。
- Rebro2023のアンインストールはRebro2024のインストール前に行うこともできます。Rebro2023の設定は、アンインストールしても維持されます。

〈設定、ユーザー部材、ライブラリの移行について〉

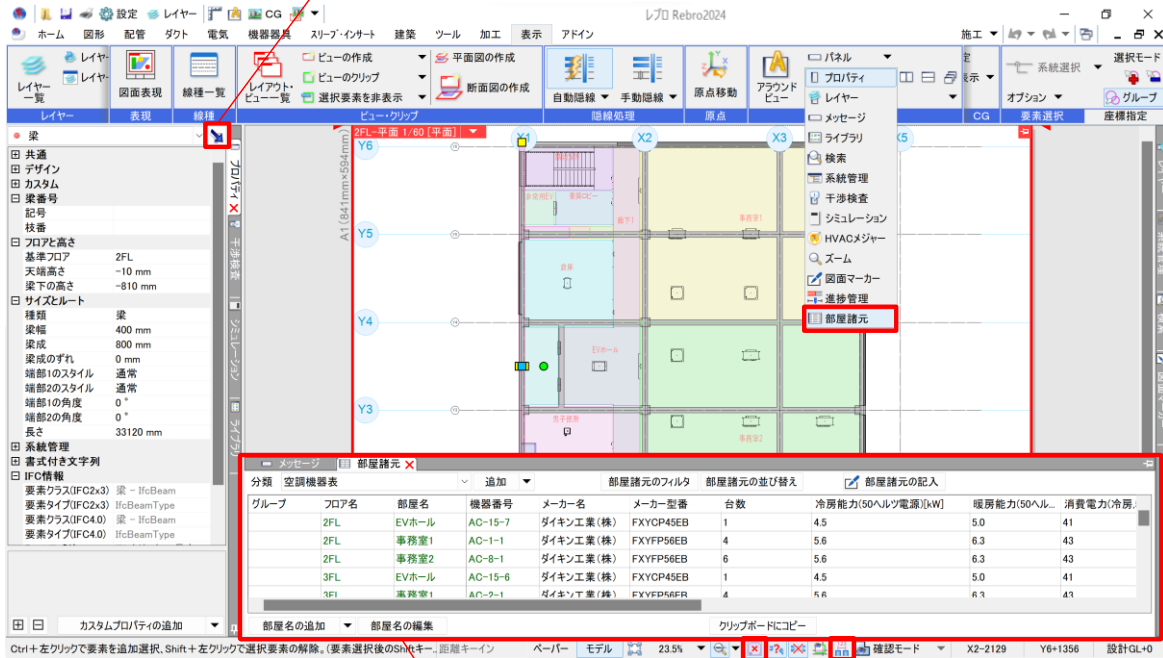
別のPCにインストールされたRebro2023の設定、ユーザー部材、ライブラリの内容を取り込むには、それぞれ設定ファイルに保存し、Rebro2024で読み込んでください。

〈Rebro2024で作成した図面について〉

Rebro2024で作成した図面を下位バージョンのレブロで開くには、[過去バージョンのRebro形式に変換]を行ってください。Rebro2024の機能アップで作図した情報は失われますが、図面は2Dの汎用図形に置き換えて維持されます。

II.画面周りの主な変更点

No.43 プロパティから要素の絞り込み



No.1 [部屋諸元]パネルを追加

No.39 寸法線・サイズ記入文字の仮表示に対応

No.2 [部屋諸元]の値を記入

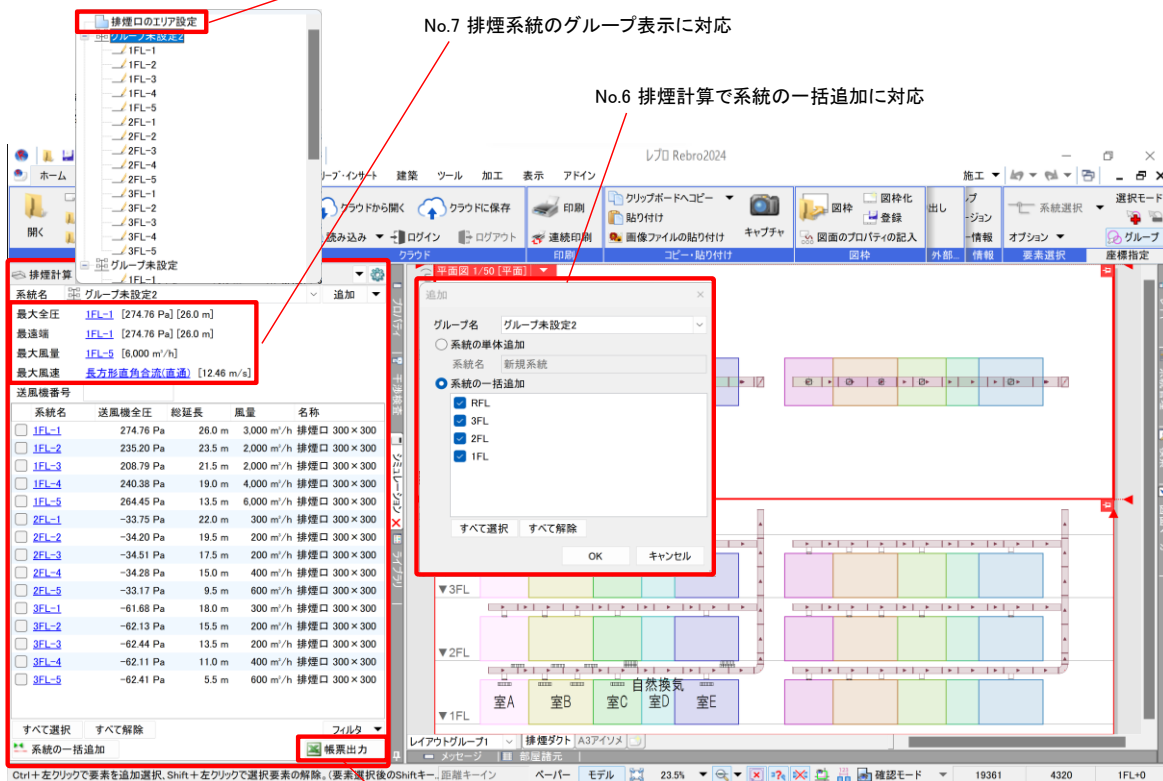
No.40 要素の基準点の表示



No.5 排煙口ごとの排煙エリア設定に対応

No.7 排煙システムのグループ表示に対応

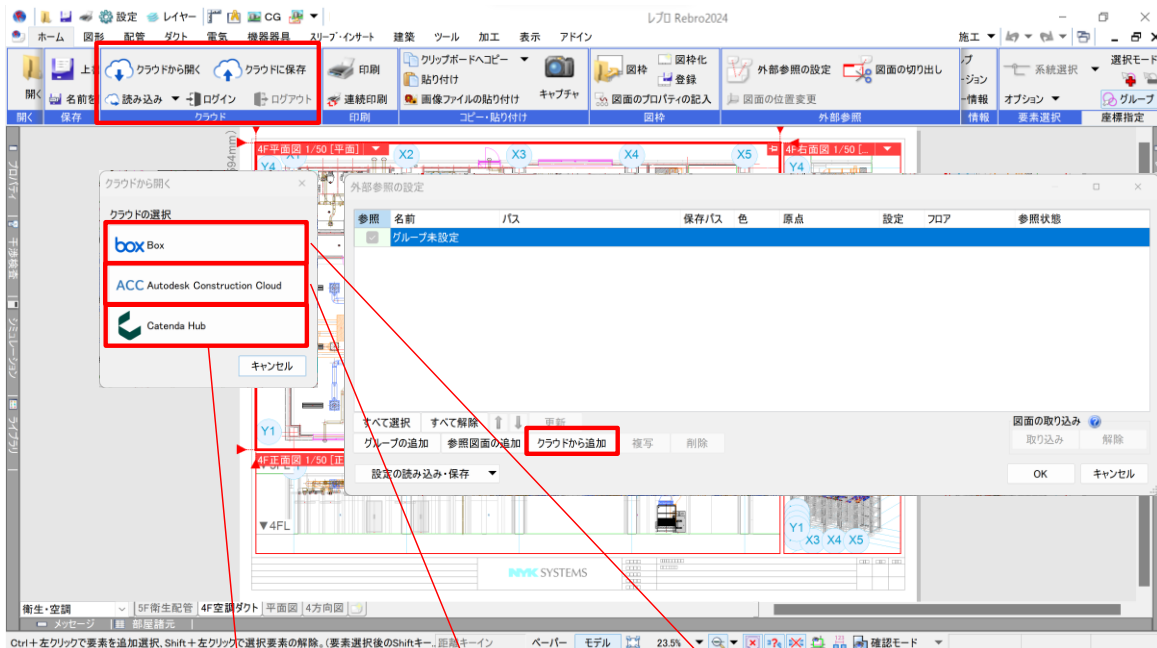
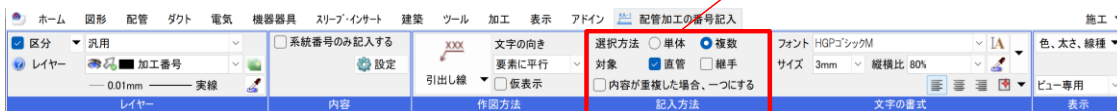
No.6 排煙計算で系統の一括追加に対応



No.8 排煙計算の帳票出力に対応

No.4 排煙計算のシミュレーションに対応

No.9 加工の番号記入の機能追加

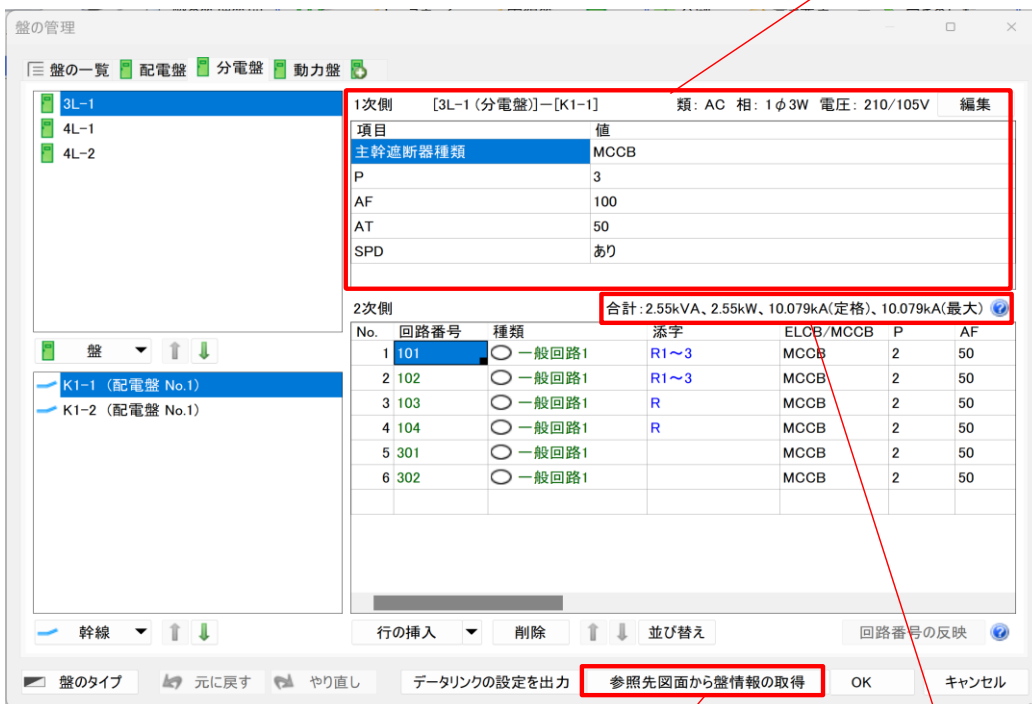


No.11 Catenda社「Catenda Hub」連携に対応

No.12 BOX社「Box」連携に対応

No.10 Autodesk社「Autodesk Construction Cloud」連携に対応

No.14 盤の管理で1次側情報の設定に対応



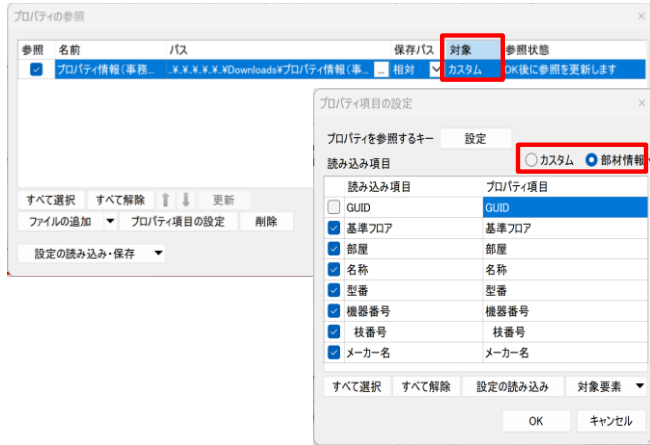
No.15 盤の管理に「定格電流」「最大電流」を追加

No.18 盤の管理で参照先図面からの盤情報取得に対応

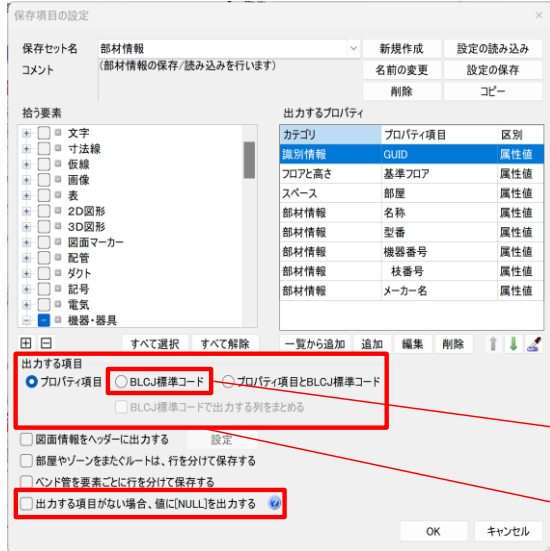


No.24 PDFを汎用図形として読み込み

No.23 3D PDF形式の保存に対応



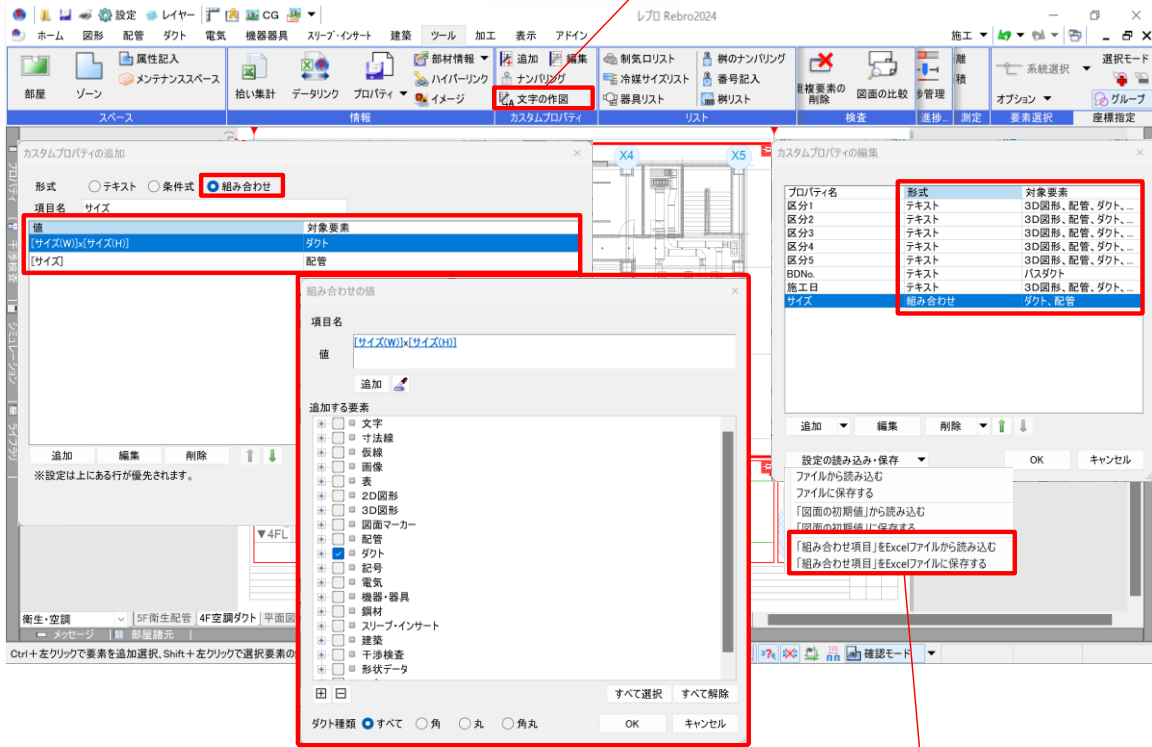
No.28 [プロパティの参照]の部材情報対応



No.25 BLCJ BIMオブジェクト標準の公開に伴う文言の変更

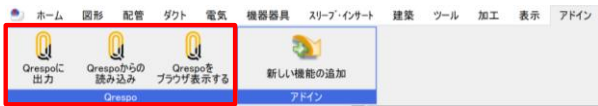
No.29 [プロパティの保存]の機能拡張

No.33 カスタムプロパティの文字の作図

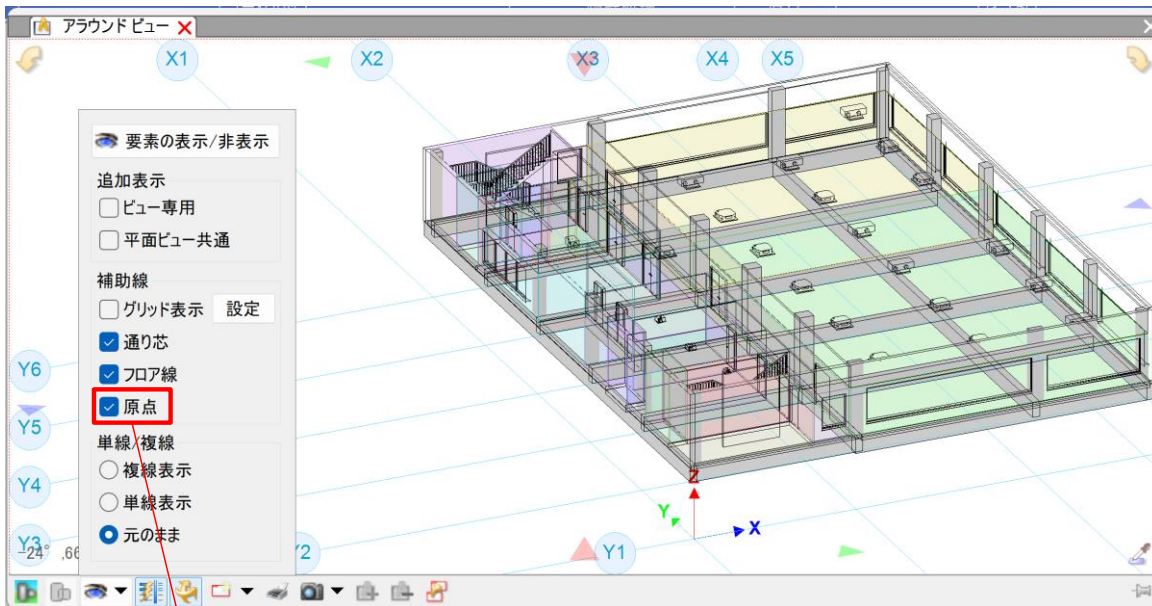


No.32 カスタムプロパティの組み合わせでエクセルに保存、読み込みに対応

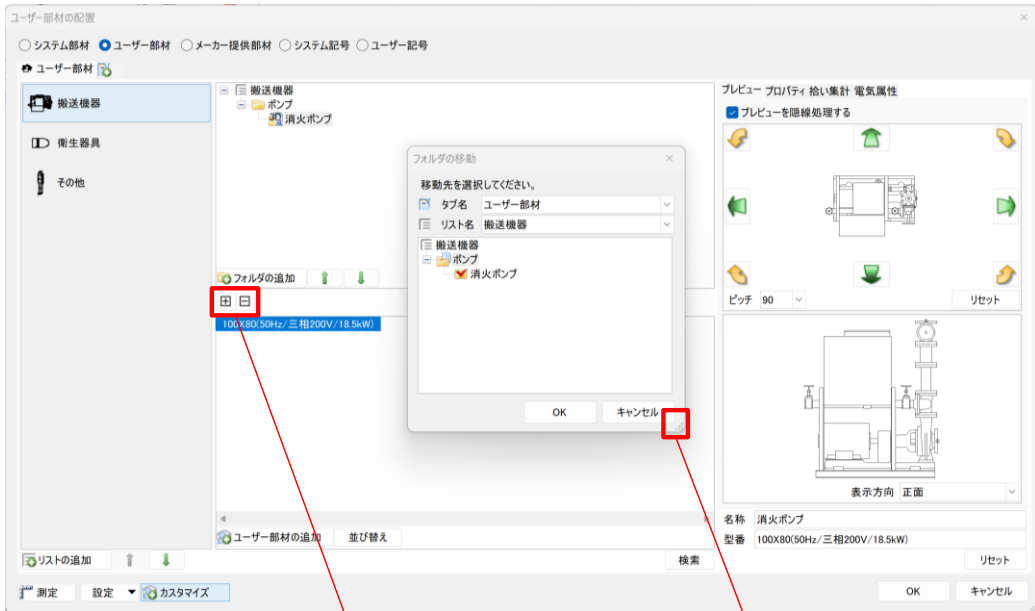
No.31 カスタムプロパティで組み合わせに対応



No.37 電気設備設計支援サービス「Qrespo(クレスポ)」との連携



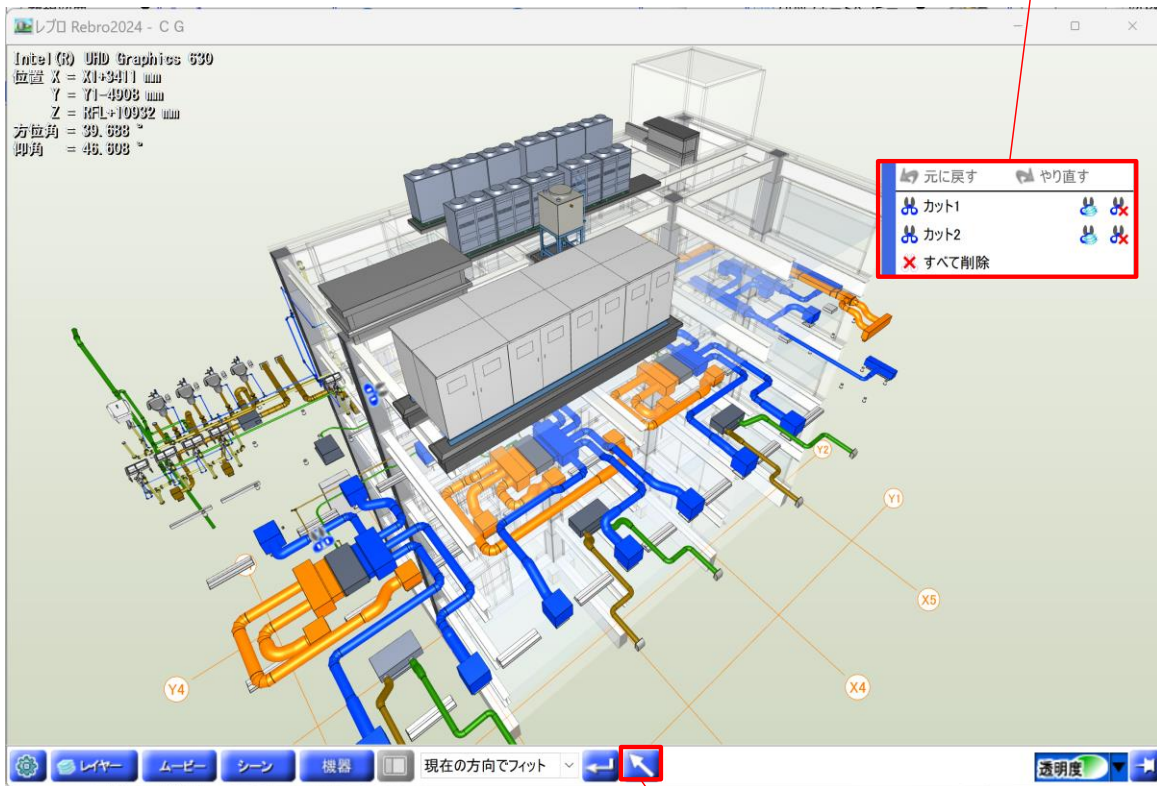
No.41 アラウンドビューに原点を表示



No.48 部材ツリーの開閉ボタン

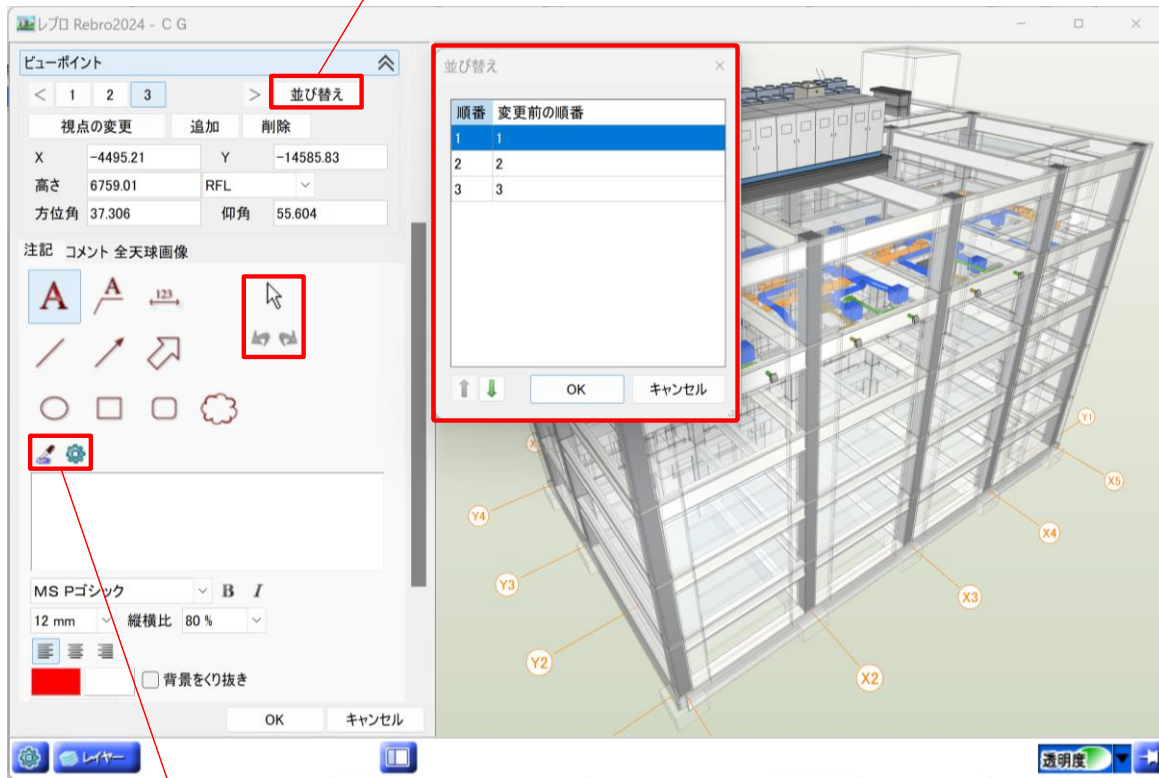
No.46 [フォルダの移動]のダイアログサイズ

No.50 カットの一覧

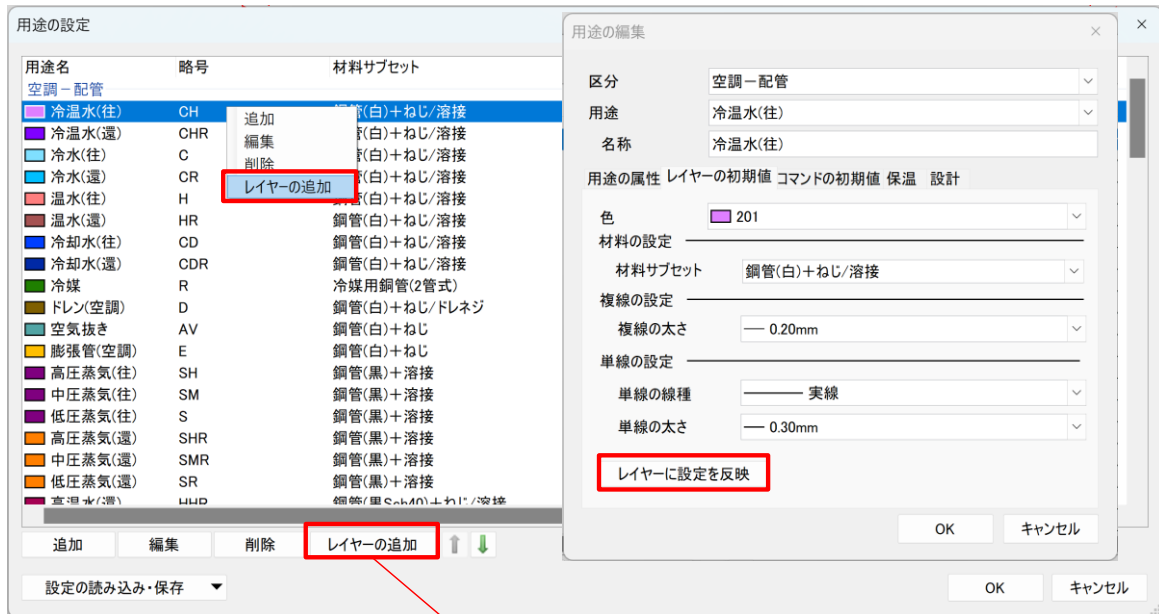


No.49 [CG]ウィンドウで要素選択

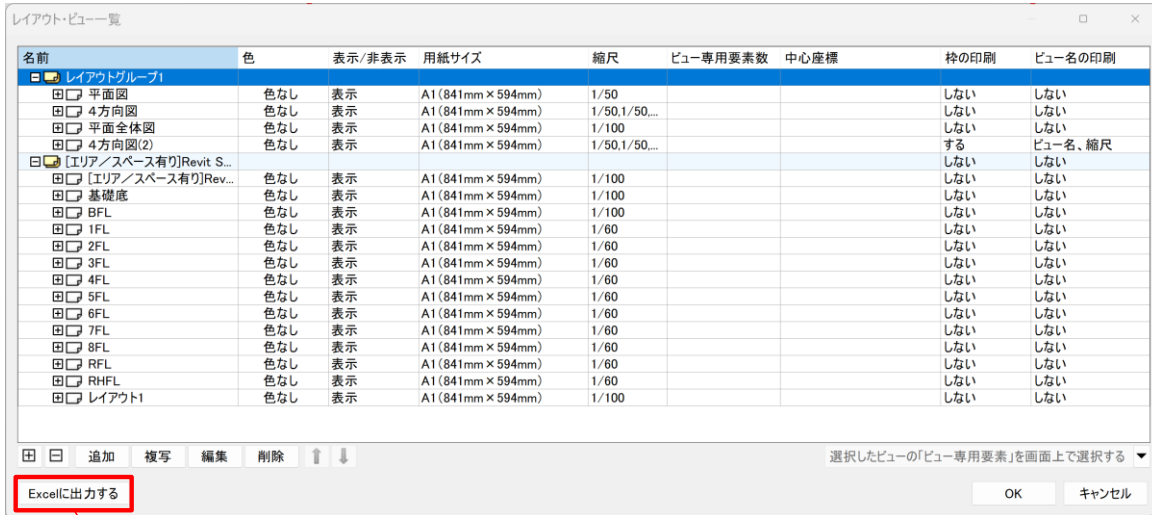
No.51 [CG]-[シーン]のビューポイントの並び替え



No.52 [CG]-[シーン]のレイアウト変更

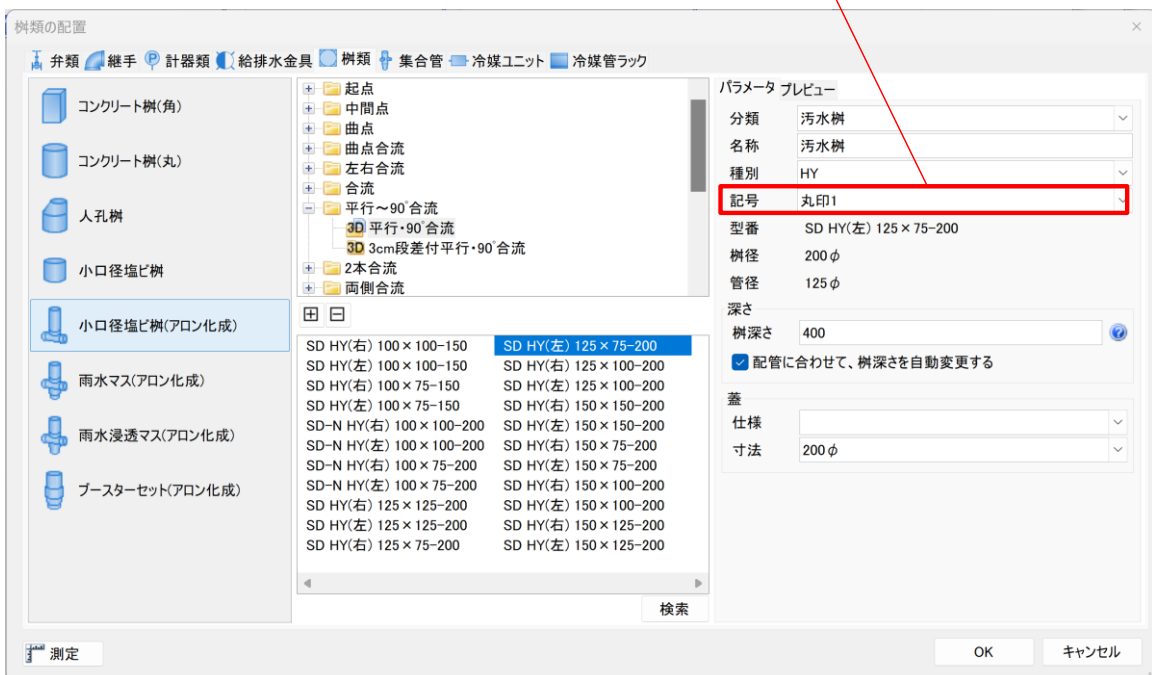


No.53 用途の設定からのレイヤー作成・更新

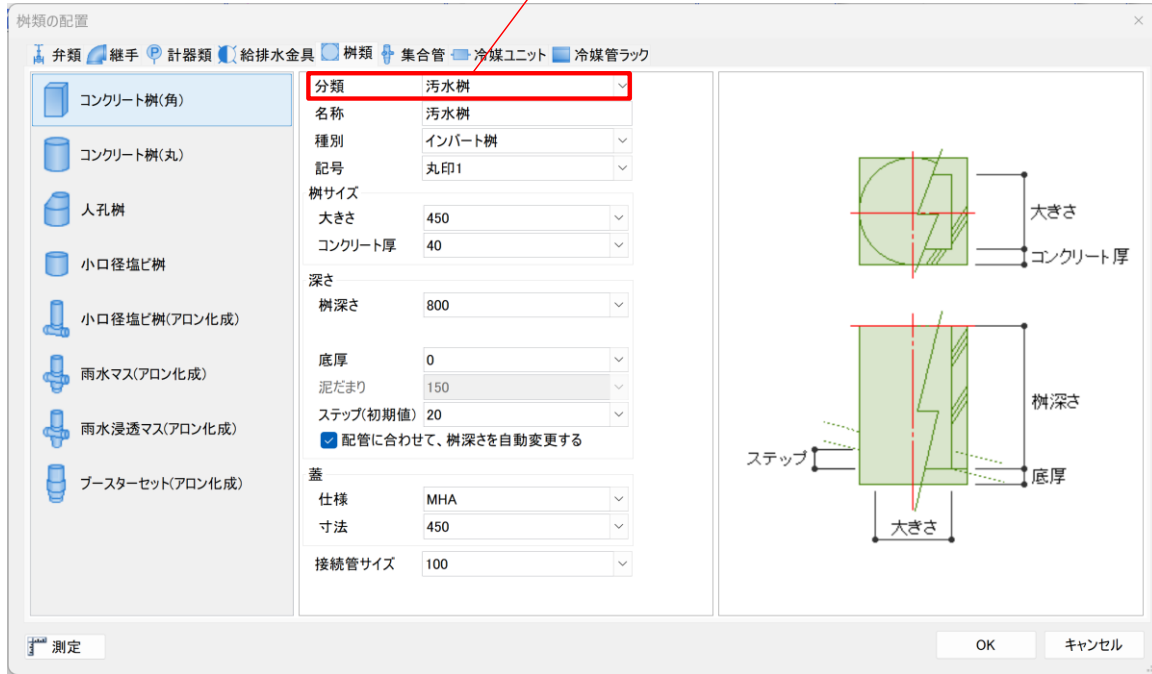


No.54 レイアウト・ビュー一覧のExcel出力

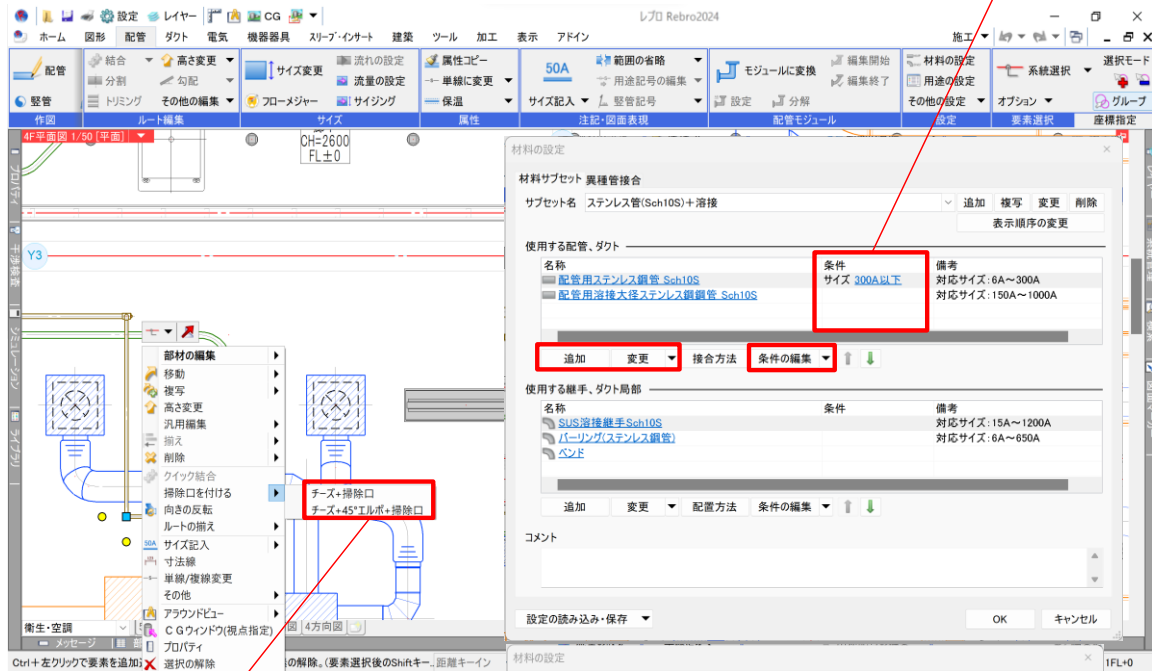
No.55 施工モードの樹の単線表現に対応



No.56 樹に分類を追加し、名称は任意に入力

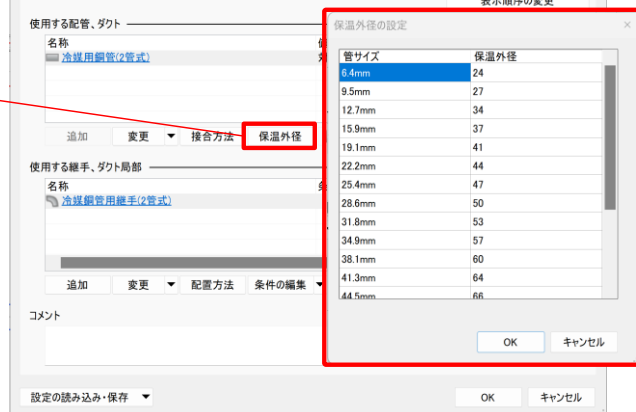


No.59 材料サブセットに複数の配管を設定

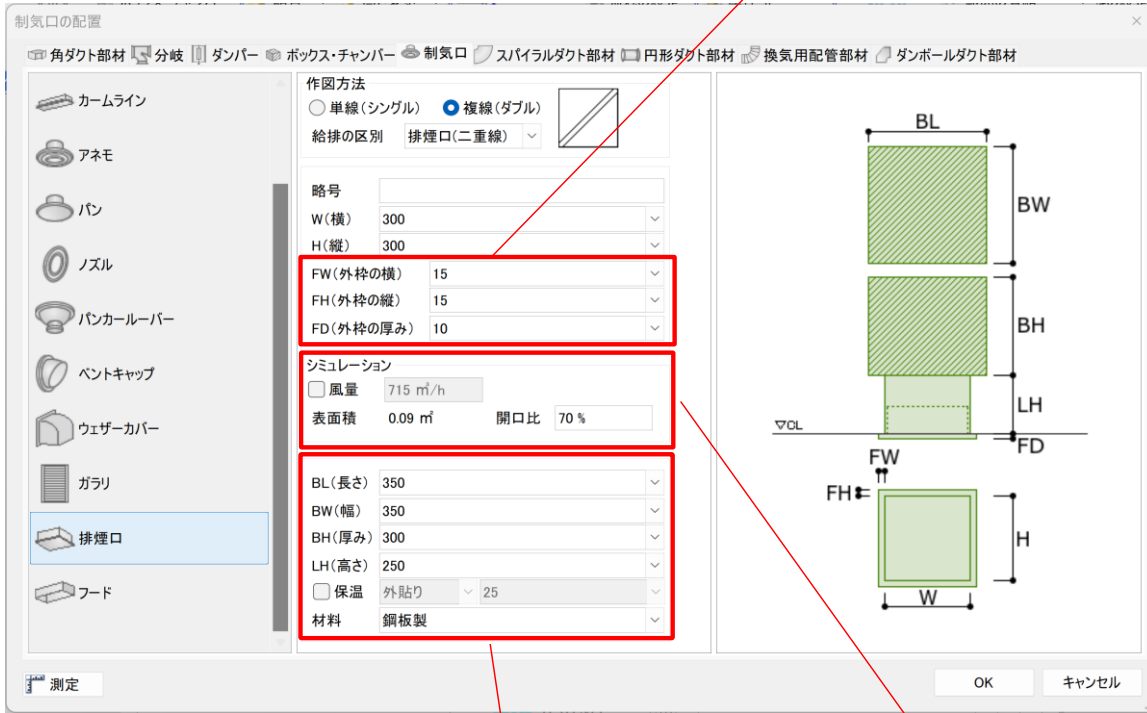


No.57 45° エルボ付き掃除口の作図機能を追加

No.60 材料サブセット単位で冷媒管の保温外径を設定

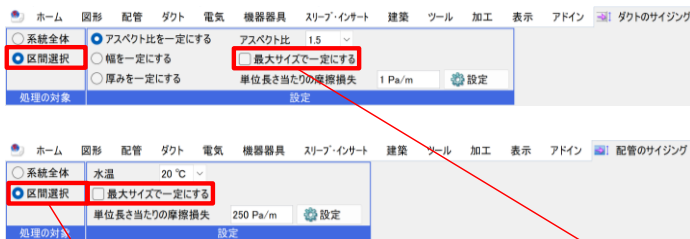


No.64 制気口の額縁サイズ



No.62 ボックス付きで排煙口を配置

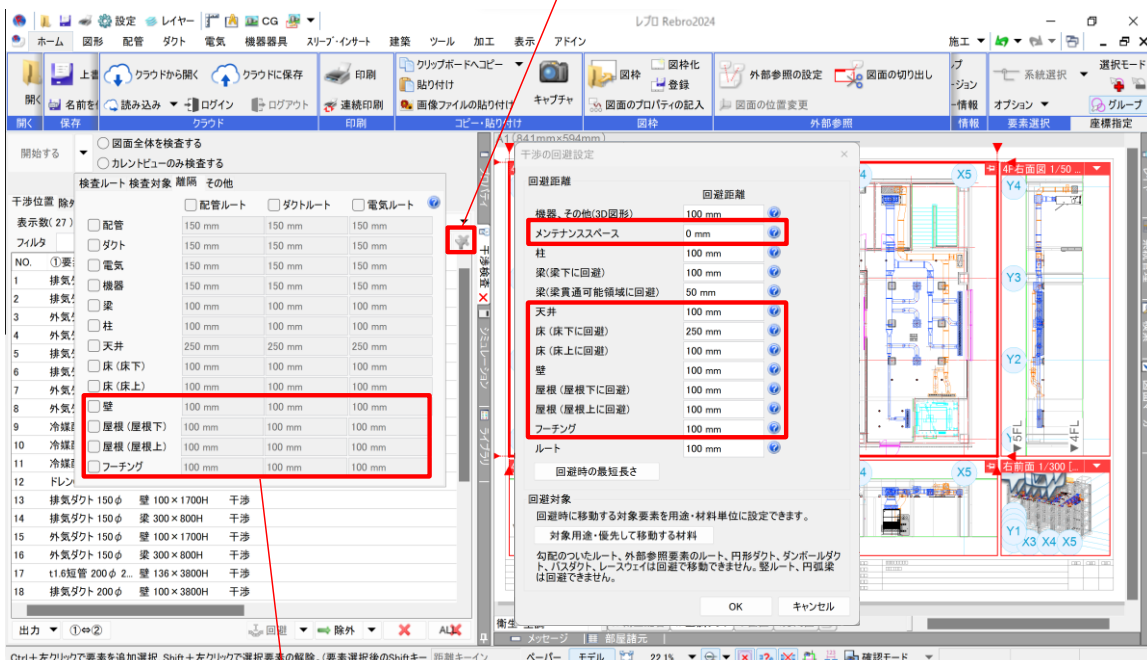
No.65 制気口の配置時に風量と開口比を指定



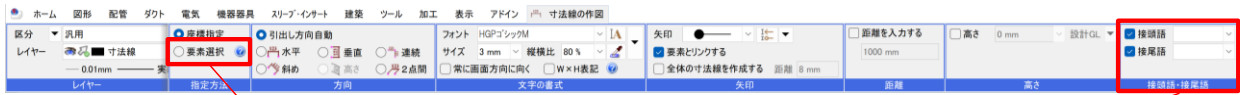
No.67 サイジングに区間内の最大サイズでサイズを設定する機能を追加

No.115 サイジングの「指定部分」を「区間選択」に変更

No.81 干渉検査のフィルタ



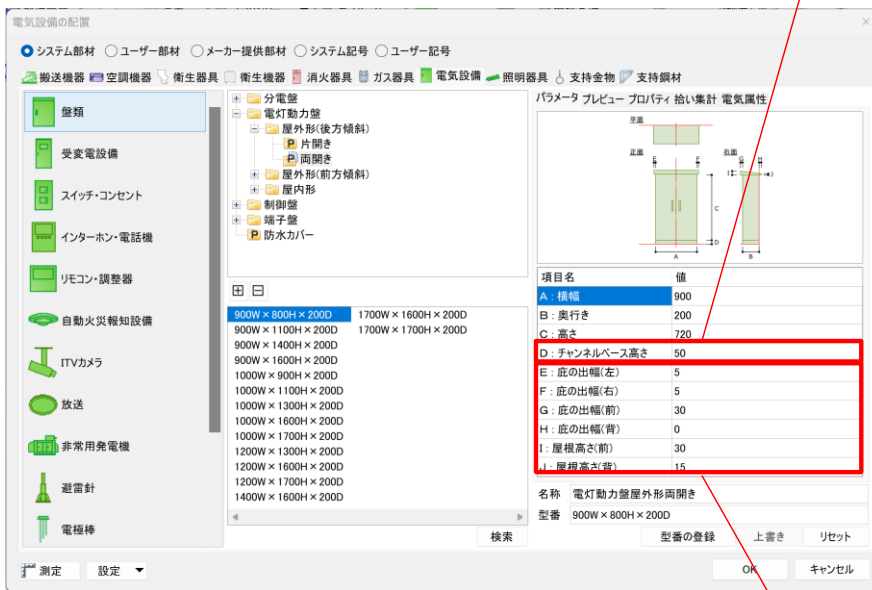
No.80 [干渉検査]の離隔と[干渉箇所]の自動回避の対象を追加



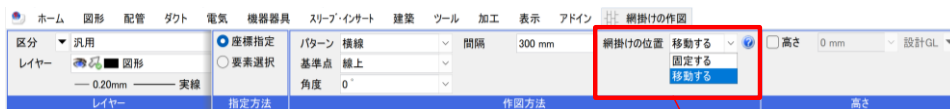
No.85 要素選択での寸法線作図に対応

No.86 寸法値への接頭語・接尾語の追加

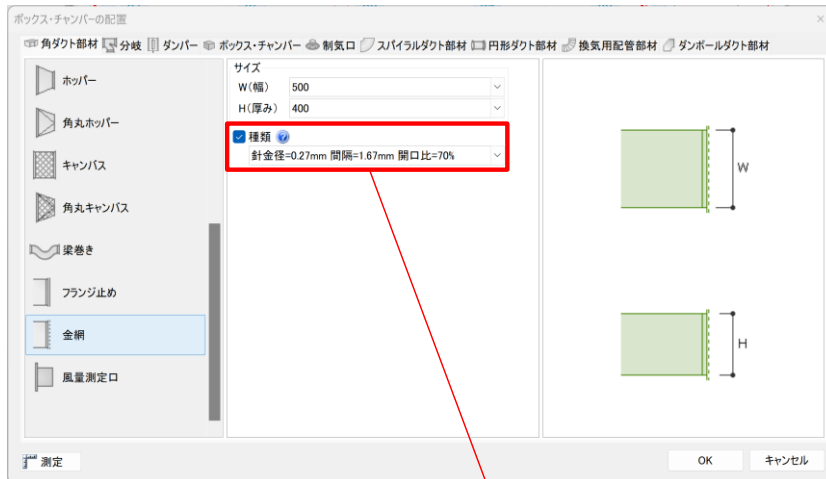
No.99 [盤類]/[受変電設備]部材の「チャンネルベース高さ」追加



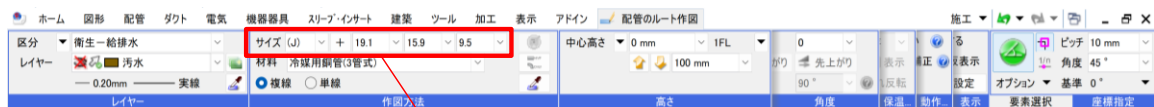
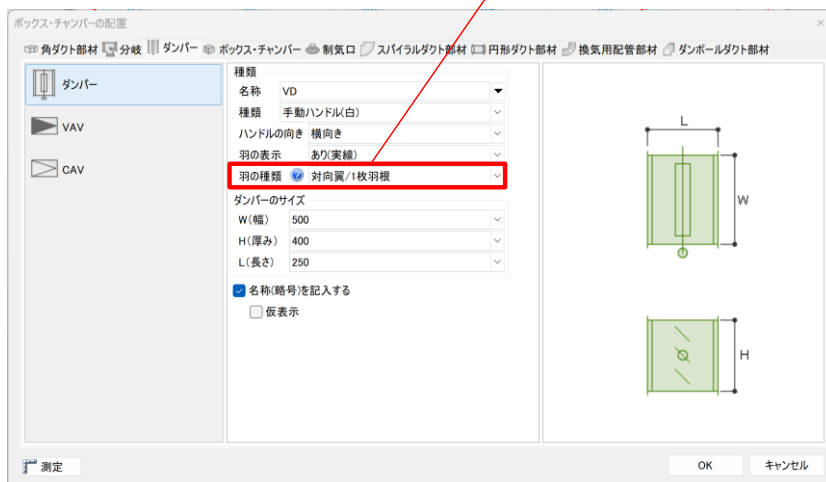
No.100 [盤類]/[受変電設備]の屋外形部材に屋根の傾斜設定を追加



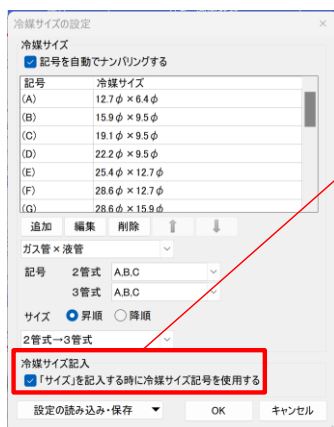
No.106 プロパティ項目[形状]-[網掛けの位置]の初期値を「移動する」に変更



No.107 設定や要素に属性を追加し、圧力損失計算の抵抗係数、風速の求め方を変更

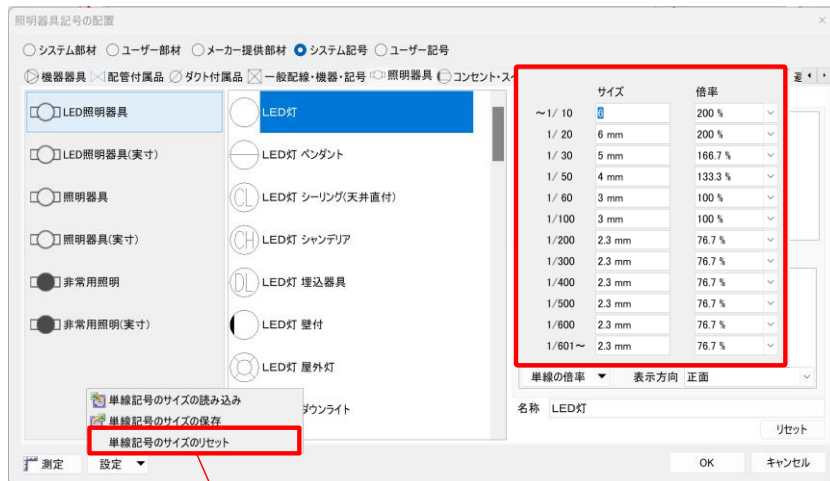


No.111 [冷媒サイズの設定]から[施工モードで冷媒サイズの記号を使用する]を廃止



No.120 電気モード・電気版レプロのリボン変更





No.124 電気単線記号の倍率をJECA基準に変更

Ⅲ.機能アップ

全102件

No.	タイトル	内容
部屋諸元・排煙計算パネル		
1	[部屋諸元]パネルを追加	[部屋諸元]パネルを追加しました。 フロア名、部屋名のキーごとの諸元情報を登録できます。キーに一致する部屋のプロパティから値を参照したり、任意の値を手入力することができます。 また、部屋に配置されている機器を機器番号ごとに検索し、台数や部材情報を表示できます。 部屋諸元の設定は複数の分類を設定でき、部屋ごとのエアバランスを設定したり、機器器具一覧を表示することができます。 [部屋名の追加]横の[▼]から[図面から部屋名の取得]を選択すると、図面で作図されている部屋名がリストに追加され、その部屋の情報を表示することができます。
2	[部屋諸元]の値を記入	[部屋諸元]パネルの[部屋諸元の記入]から、部屋諸元に設定した情報を図面の表や文字として作図できます。 作図された文字は、[部屋諸元]パネルの値と連動しています。パネルの値を変更すると図面に反映されます。
3	[部屋諸元]のプロパティの活用	[部屋諸元]パネルで設定した情報は、フロア名、部屋名が一致する、部屋要素のプロパティで表示されます。 [ツール]タブ-[プロパティ]-[プロパティの保存]や[ツール]タブ-[データリンク]で部屋要素を出力する時、諸元情報を出力することができます。
4	排煙計算のシミュレーションに対応	[シミュレーション]パネルに[排煙計算]を追加しました。 パネル上部のドロップダウンから切り替えられます。隣接するエリアを設定することで、同時開放される排煙口の風量を考慮した圧力損失計算ができます。 併せて、[ダクト]タブ-[サイジング]で排煙系統のダクトサイズに適切なサイズを設定できるようにしました。
5	排煙口ごとの排煙エリア設定に対応	[シミュレーション]パネル-[排煙計算]の「系統名」のドロップダウンリストに[排煙口のエリア設定]を追加しました。 排煙ルートに接続された排煙口や金網に対して排煙エリアの設定ができます。「エリア」ごとに「隣接するエリア」を設定することで、同時開放されるエリアを設定します。 排煙風量は同時開放されるエリアの合計風量と系統内の最大風量を比較して自動計算されます。
6	排煙計算で系統の一括追加に対応	[シミュレーション]パネル-[排煙計算]の[追加]で、ファンに接続する系統の一括追加に対応しました。 ダクトのルートを選択すると系統の排煙口や金網がリストアップされ、シミュレーション系統として一括追加することができます。
7	排煙系統のグループ表示に対応	[シミュレーション]パネル-[排煙計算]で、「系統名」のドロップダウンリストでの排煙系統のグループ表示に対応しました。 グループを選択するとパネルが系統の一覧に切り替わり、送風機全圧や総延長などの比較や確認ができます。 また、グループ内の「最大全圧」「最遠端」「最大風量」「最大風速」の系統を確認することができます。
8	排煙計算の帳票出力に対応	[シミュレーション]パネル-[排煙計算]で[帳票出力]に対応しました。 複数の帳票が一つのファイルで出力されます。1シート目に「排煙口の算定帳票」、2シート目以降に「排煙ダクトの算定帳票」が出力されます。出力する系統は[シミュレーション]パネル上で選択できます。 国土交通省「建築設備設計計算書作成の手引き 令和3年版」の下記様式で出力します。 「排煙口の算定」(様式 機-68)、「排煙ダクトの算定」(様式 機-69)
加工		
9	加工の番号記入の機能追加	[加工]-[配管加工の番号記入][角ダクト加工の番号記入][スパイラルダクト加工の番号記入]で以下の機能追加を行いました。 ・記入内容を設定で登録し、記入時に選択できるようにしました。 ・「引出し線」ありで作図した場合、それぞれの選択要素に対して引出し線ありのサイズ記入文字が作図できるようにしました。 ・内容が同じ加工番号を一つにまとめて記入できるようにしました。 ・作図の対象で、[直管]、[継手]を選択して記入できるようにしました。

クラウドストレージ		
10	Autodesk社「Autodesk Construction Cloud」連携に対応	Autodesk社が提供する共通データ環境「Autodesk Construction Cloud Docs」「BIM360 Docs」とのクラウドストレージ連携に対応しました。 [クラウドから開く][クラウドに保存]からAutodesk Construction Cloud上のファイルを直接開く、もしくは直接保存することができます。図面の外部参照、プロパティの参照ができます。
11	Catenda社「Catenda Hub」連携に対応	Catenda社が提供する共通データ環境「Catenda Hub」とのクラウドストレージ連携に対応しました。 [クラウドから開く][クラウドに保存]から「Catenda Hub ドキュメント」上のファイルを直接開く、もしくは直接保存することができます。図面の外部参照、プロパティの参照ができます。
12	BOX社「Box」連携に対応	クラウドストレージサービス「Box」との連携に対応しました。 [クラウドから開く][クラウドに保存]から「Box」上のファイルを直接開く、もしくは直接保存することができます。図面の外部参照、プロパティの参照ができます。
ゾーン		
13	対象室の追加	配管、ダクト、電気(配線を除く)、機器器具のプロパティ項目[スペース]に「対象室」を追加しました。 同じ用途で繋がる末端の機器器具、制気口が配置されている部屋が表示されます。 また、部屋の天端から上のフロアまでを天井裏とし、その範囲に属するものは部屋名の後ろに「(天井裏)」を追加した部屋になるように変更しました。[設定]-[図面の初期値]タブ-[図面の表現]-[ツール]-[部屋]で天井裏の表示方法が設定できます。 図面ごとの表示方法は[表示]タブ-[図面表現]-[ツール]-[部屋]で設定できます。
盤の管理		
14	盤の管理で1次側情報の設定に対応	[電気]タブ-[盤の管理]で、盤の1次側情報を設定できるようにしました。 [盤のタイプ]で1次側の項目を定義することで、1次側情報を設定できます。盤や電気器具のプロパティ項目[盤の情報]は[親の盤情報(2次側)]に名称変更されます。1次側情報はプロパティ項目[盤情報(1次側)]として表示されます。Rebro2023(Rev.11)以前のバージョンで作成された盤表は2次側情報として扱います。 併せて、分電盤・動力盤のシステム項目として1次側の[電源種類][相][電圧]を設定できるようにしました。 親の配電盤2次側の項目タイプ[電源種類][相][電圧]とリンクしているため、それぞれ入力した値が相互連動します。
15	盤の管理に「定格電流」「最大電流」を追加	[電気]タブ-[盤の管理]の[盤のタイプ]に項目タイプ[運転時の定格電流[A](合計)][運転時の定格電流[kA](合計)][運転時の最大電流[A](合計)][運転時の最大電流[kA](合計)][運転時の定格電流[A](個別)]を追加しました。 定格電流と最大電流の合計値も表示されるようにしました。[ツール]タブ-[データリンク]でも合計値を出力することができます。 併せて、項目タイプ[運転時の最大電流[A]]を[運転時の最大電流[A](個別)]に名称変更しました。
16	盤の管理で複数面の盤に対応	[電気]タブ-[盤の管理]で、複数面の盤を考慮できるようにしました。 プロパティ項目[接続先]-[接続]を「しない」にした盤は[盤の管理]に表示されないようにしました。 同名の盤を並べて配置して複数面の盤とし、代表の盤のプロパティ項目[接続先]-[接続]のみを「する」にすることで、[盤の管理]で一つの盤として扱うことができます。
17	盤の管理で回路番号の添字をリストアップ	[電気]タブ-[盤の管理]の[盤のタイプ]に項目タイプ[回路番号の添字(結合)]を追加しました。 機器器具に設定された回路番号の添字をまとめて表示できます。「R1、R2、…」などのリモコンリレーの添字を結合して「R1～R4」のように表示できます。 併せて、キーとなる項目タイプの名称末尾に[キー]をつけるように名称変更しました。 キーとなる項目タイプの値は緑色で表示されます。
18	盤の管理で参照先図面からの盤情報取得に対応	[電気]タブ-[盤の管理]に[参照先図面から盤情報の取得]を追加しました。 [参照先図面から盤情報の取得]をクリックすると取得できる盤が一覧表示され、選択した参照先の図面の盤の情報が取得できます。 併せて、盤の一覧で複数選択に対応しました。盤の編集・移動・削除を一括で行うことができます。

データリンク		
19	[データリンク]で盤情報の入出力に対応	[ツール]タブ-[データリンク]で、「盤情報(1次側)」の入出力と「親の盤情報(2次側)」の出力に対応しました。[盤]の項目の設定は、「盤情報(2次側)」を出力する機能となります。 併せて、[レプロ]に表を貼り付けで出力した表(データリンク)のセルに有意点を追加しました。盤リストの系統の線などを汎用図形でより容易に作図できるようになります。また、表(データリンク)の作図時に背景を透明に変更できるようにしました。
20	表(データリンク)の「回路番号」に「回路の種類」の記号を表示	表(データリンク)の「回路番号」に、「回路の種類」の記号を重ねて表示できるようにしました。「盤の項目の設定」時に、新設した「回路番号(記号付き)」を定義すると、表(データリンク)に「回路の種類」の記号で回路番号が表示されます。ただし、[データリンク]-[Excelに保存]では「回路の種類」の記号は出力されず、回路番号のみ保存されます。
21	表(データリンク)の列幅・行高さの個別設定	表(データリンク)の列幅・行高さを、数値指定で設定できるようにしました。[ツール]タブ-[データリンク]の[Excelのセル位置指定]ダイアログに新設した「列と行の設定」ダイアログで列幅・行高さを設定できます。ただし、[データリンク]-[Excelに保存]で保存するExcelの列幅・行高さには影響しません。
外部参照		
22	外部参照先のルートに対して必要な媒介などを発生させて作図	[配管]タブ-[配管]で、外部参照先のルートの有意点を指定すると、必要な媒介やレジャーなどが発生しエリア分けした続きが作図できます。外部参照先とは接続されないため、元図の配管を移動などしても連動はしません。配管のコンテキストメニュー[クイック結合][結合]でも元図面要素と外部参照要素を選択すると、ルートの続きが作図できます。ダクト・電気も同様に対応しています。
PDF		
23	3D PDF形式の保存に対応	3D PDF形式の保存に対応しました。[PDF(3D)ファイルとして保存]で、[基準のビュー]などを指定して保存することができます。
24	PDFを汎用図形として読み込み	PDF形式ファイルのラスターデータを汎用図形の文字や線要素として読み込む機能を追加しました。[PDF読み込み(CADデータ)]で、図面の拡大率などを指定して読み込むことができます。
機器		
25	BLCJ BIMオブジェクト標準の公開に伴う文言の変更	BLCJ BIMオブジェクト標準が2023/12/12に公開されたため、コマンドなどの「Stem」の文言を「BLCJ標準」に統一しました。
26	BLCJ BIMオブジェクト標準の仕様属性項目の追加・変更	機器の属性情報のコードの定義を「BLCJ BIMオブジェクト標準」に合わせました。機器ライブラリの読み込みはVer.1.0に対応しています。
27	機器のレイヤー初期値の設定機能を追加	[設定]-[図面の初期値]タブ-[コマンドの初期値]-[レイアウト・レイヤー]-[レイヤー初期値]に[機器のレイヤー初期値]ボタンを追加し、機器のレイヤー初期値が設定できるようになりました。ここで設定したレイヤーが機器器具の配置時のレイヤーの初期値となります。一度レイヤーを変更して配置した場合、前回の値を使用します。図面ごとのレイヤー初期値の設定は、[表示]タブ-[レイヤー初期値]から変更できます。
ツール		
28	[プロパティの参照]の部材情報対応	[ツール]タブ-[プロパティ]-[プロパティの参照]の参照プロパティ項目に、[部材情報]を追加しました。読み取り専用属性のプロパティ項目として参照します。ただし、部材情報を[部材の編集]などで編集する場合、元のプロパティ項目が更新されます。この機能に対応する要素は、プロパティ項目[部材情報]-[機器番号]が表示される要素です。併せて、[ツール]タブ-[プロパティ]-[プロパティの保存]で出力される新しいCSV形式ファイルを読み込めるようにしました。

29	[プロパティの保存]の機能拡張	<p>[ツール]タブ-[プロパティ]-[プロパティの保存]に以下の機能拡張を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロパティ項目行とBLCJ標準コード行の二行分のヘッダ行を出力できるようにしました。 ・BLCJ標準コードをヘッダ行に出力する際、BLCJ標準コードで出力する列をまとめられるようにしました。 ・図面のプロパティの内容を、従来のプロパティとともに出力できるようにしました。 ・要素が未対応のプロパティ項目を出力する際、「[NULL]」という文字列で出力できるようにしました。 <p>[ツール]タブ-[プロパティ]-[プロパティの読み込み]で読み込むことが可能です。その際、「[NULL]」という文字があると、その項目の読み込みは無視します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・併せて、以下の状態を、PC単位の記憶から設定単位の記憶に変更しました。 <p>「部屋やゾーンをまたぐルートは、行を分けて保存する」 「バンド管を要素ごとに行を分けて保存する」</p>
30	[プロパティの保存][データリンク]に基準点XYZ追加	<p>[ツール]タブ-[プロパティ]-[プロパティの保存]で、基準点をX/Y/Zでセルを分けて出力できるようにしました。</p> <p>[編集]から開くダイアログの[追加][編集]にプロパティ項目[基準点 X][基準点 Y][基準点 Z]を追加しました。</p> <p>プロパティパネルに表示されない項目で、[プロパティ以外の項目]カテゴリから選択できます。</p> <p>[ツール]タブ-[データリンク]-[Excelのセル位置指定]でもプロパティ項目[基準点 X][基準点 Y][基準点 Z]を追加しました。</p>
カスタムプロパティ		
31	カスタムプロパティで組み合わせに対応	<p>[ツール]タブ-[追加][編集]の[カスタムプロパティの追加/編集]ダイアログで、「組み合わせ」形式が選択できるようにしました。</p> <p>「組み合わせ」では既存のプロパティやテキストを組み合わせでプロパティ項目[カスタム]に読み取り専用で表示する値を指定します。</p> <p>要素の種類ごとに組み合わせを設定することができます。</p>
32	カスタムプロパティの組み合わせでエクセルに保存、読み込みに対応	<p>[ツール]タブ-[編集]の[カスタムプロパティの編集]ダイアログで、「[組み合わせ項目]」をExcelファイルから読み込む[「組み合わせ項目」をExcelファイルに保存する]に対応しました。</p> <p>カスタムプロパティの組み合わせ項目を一括で保存、読み込みすることができます。</p>
33	カスタムプロパティの文字の作図	<p>カスタムプロパティを、文字リンクの形で作図するコマンドを追加しました。</p> <p>サイズ記入文字に対応していない図形などの要素に対し、カスタムプロパティの値とリンクした文字を作図できます。</p>
アドイン		
34	InfiPoints連携でスパイラルダクトの読み込みに対応	<p>エリジオン社の[InfiPoints連携]で、スパイラルダクトの読み込みに対応しました。</p> <p>ダクトの用途が設定されている場合に、スパイラルダクトとして読み込むことができます。</p> <p>スパイラルダクトの材料の中で、一番上にある材料で読み込みます。</p>
35	Revit(rvt)ファイルの保存でRevit2023/2024への出力に対応	<p>Autodesk社の[Revit連携]の[Revit(rvt)ファイルの保存]で、Revit2023とRevit2024向けのプロジェクトファイル出力に対応しました。</p> <p>それぞれ、Revitのバージョンに対応するアドインRebroLinkRv2023/2024を別途インストールすることで、[対象のRevitバージョン]に出力できるRevitのバージョンが新しく追加されます。</p> <p>併せて、[3D形状をフォームに変換する]のチェックを追加しました。</p> <p>チェックをオンにすると、変換可能な形状に関しては曲面を細かい平らな面の貼り合わせではなく、Revitが曲面として認識する情報(フォーム)に変換して出力します。それにより、Revit側での表示がよりリアルな表現となります。</p> <p>この機能は、Revit2023/2024向けに出力する場合のみ有効となります。</p>
36	みつもりくん連携で出力する情報の追加	<p>コンプケア社の[みつもりくん連携]で「冷媒サイズの順番」「配線管理の情報」「部材情報」を出力し、受け渡せるようにしました。</p>
37	電気設備設計支援サービス「Qrespo(クレスポ)」との連携	<p>河村電器産業社の電気設備設計支援サービス「Qrespo(クレスポ)」との連携機能に対応しました。</p> <p>レプロから出力した盤情報を用いて「Qrespo」で盤の重量・サイズを選定し、結果をレプロの盤要素のサイズとして反映することができます。</p>
IFC		
38	設備IFCデータ利用標準Ver.2.1に対応	<p>[IFCファイルとして保存][IFC読み込み]で、設備IFCデータ利用標準Ver.2.1に対応しました。</p> <p>主な項目として配管加工用のバーリング、鉄ソケット、バンダー加工管の受け渡し追加されました。</p>

基本操作/操作性/各種パネル		
39	寸法線・サイズ記入文字の仮表示に対応	選択要素の寸法線・サイズ記入文字を仮表示する機能を追加しました。 ステータスバーの[寸法線・サイズ記入文字の仮表示]アイコンでオン/オフを切り替えられます。アイコンがオンの状態で、要素を選択すると寸法線・サイズ記入文字が仮表示されます。寸法線は、通り芯、フロアライン、次に選択した要素との距離が表示されます。サイズ記入文字は、[名称][基準フロア][高さ]が表示されます。それぞれを文字をクリックすると、仮表示と同じ内容の寸法線・サイズ記入文字を作図できます。
40	要素の基準点の表示	要素の基準点や配置ダイアログのプレビューの基準点に点を表示できるようにしました。 [設定]-[一般]タブ-[座標指定]-[有意点]から、点の表示や形状を指定することができます。 ステータスバーの[基準点の表示]アイコンでオンオフを切り替えられます。表示のみの対応のため、印刷などには影響はありません。 基準点を表示する要素は、[機器・器具][配管][ダクト][電気]に属する一部の要素グループの要素に限られます。
41	アラウンドビューに原点を表示	アラウンドビューで原点を表示できるようにしました。 [アラウンドビューの表現]から表示/非表示を切り替えられます。
42	ツールチップに位置を表示	[ルート作図][部材の配置]で、位置指定時のツールチップに通り芯からの離れ距離を表示するようにしました。 また、[ルート作図]では接続口のツールチップに用途を表示するようにしました。
43	プロパティから要素の絞り込み	[プロパティ]パネルに[選択要素の絞り込み]ボタンを追加しました。
44	[系統選択]、[選択要素の拡張]を外部参照に対応	外部参照の要素で、[系統選択]や[選択要素の拡張]を行えるようにしました。
45	表示拡大率のテキスト編集	表示拡大率を数値指定できるようにしました。 ドロップダウンの「数値指定」から開くダイアログで表示拡大率をテキスト入力できます。
46	[フォルダの移動]のダイアログサイズ	[機器器具]タブ-[ユーザー部材]で、[カスタマイズ]がオンの場合に表示されるフォルダのコンテキストメニュー[フォルダの移動]のダイアログサイズを変更できるようにしました。
47	各種ダイアログの最大化	下記のダイアログをディスプレイの画面全体に最大化できるようにしました。 <ul style="list-style-type: none"> ・[ホーム]タブ-[設定]ダイアログ ・[ホーム]タブ-[外部参照の設定]ダイアログ ・[電気]タブ-[配線管理]ダイアログ ・[電気]タブ-[盤の管理]ダイアログ ・[ツール]タブ-[データリンク]-[Excelのセル位置指定]ダイアログ ・[表示]タブ-[レイアウト・ビュー一覧]ダイアログ
48	部材ツリーの開閉ボタン	[部材の編集]ダイアログに部材ツリーのすべて開く/閉じるボタンを追加しました。
CG		
49	[CG]ウィンドウで要素選択	[CG]ウィンドウで、作図画面のように左クリックで要素が選択できるように[要素選択]ボタンを追加しました。 オンにすると、作図画面と連動して要素選択ができます。要素を選択すると寸法線・サイズ記入文字が仮表示されます。寸法線は、通り芯、フロアライン、次に選択した要素との距離が表示されます。サイズ記入文字は、[名称][基準フロア][高さ]が表示されます。 併せて、寸法線のデザインを変更しました。端点の記号を円錐から球に変更して値の文字に縁を付けました。 また、900mm以上の寸法線は一定以上の大きさにならないように制限しました。
50	カットの一覧	[CG]ウィンドウで、要素を選択していない状態のコンテキストメニューにカット一覧を表示するようにしました。 カット一覧のボタンをクリックすると以下の操作ができます。 <ul style="list-style-type: none"> ・指定した断面カットのカーソル位置に視点・マウスカーソルを移動 ・[カットするレイヤー一覧]ダイアログでカットするレイヤーの変更 ・指定した断面カットの削除 ・すべての断面カットの削除
51	[CG]-[シーン]のビューポイントの並び替え	[CG]-[シーン]のビューポイントの並び替えに対応しました。 「シーンの印刷」「PDFファイルに保存」で「ページごとに保存」を選択した場合、BCF形式ファイルの保存(Ver2.1以上)でのビューポイントの順番を変更することができます。
52	[CG]-[シーン]のレイアウト変更	[CG]-[シーン]-[注記]の「スポット」「歯車」「線や注記の選択」「元に戻る」「やり直し」のアイコンの位置をパネルのサイズ変更で影響を受けにくい位置に移動しました。

レイヤー		
53	用途の設定からのレイヤー作成・更新	<p>[用途の設定]で選択した用途をもとにレイヤーを作成できるようにしました。 同様に、[設定]-[図面の初期値]タブ-[コマンドの初期値]-[レイアウト・レイヤー](以下、[設定])の[用途]から、選択した用途をもとに作成したレイヤーを[設定]-[レイヤー]に追加できるようにしました。</p> <p>併せて、[用途の設定]-[用途の編集]ダイアログ-[レイヤーの初期値]タブの[レイヤー]に設定を反映から、[レイヤーの初期値]タブの内容で現在のレイヤーを更新できるようにしました。 同様に、[設定]-[用途]-[用途の編集]ダイアログ-[レイヤーの初期値]タブの内容で、[設定]-[レイヤー]を更新できるようにしました。</p>
レイアウト/ビュー		
54	レイアウト・ビュー一覧のExcel出力	<p>[表示]タブ-[レイアウト・ビュー一覧]の[Excelに出力する]で、レイアウトグループ・レイアウト・ビューの情報をExcelに出力できるようにしました。 [表示/非表示]の項目が「表示」になっているレイアウトのみ出力します。</p>
配管		
55	施工モードの樹の単線表現に対応	<p>施工モードで配置した樹の単線表現に対応しました。 樹の配置後、プロパティ項目[単線]-[複線・単線]を[単線]に切り替えることで単線表現に変更できます。 単線に変更した樹は、コンテキストメニュー[記号サイズの変更]から用紙スケールでビューの縮尺ごとにサイズを指定することが可能です。 また、樹に接続したルートが単線表示になっている場合、樹の記号の外径に向けてルートが繋がる表示にしました。</p>
56	樹に分類を追加し、名称は任意に入力	<p>[配管]タブ-[樹類]の樹に分類を追加し、名称は任意に入力できるようにしました。 サイズ記入文字や樹リスト、拾い集計などで名称が使用されます。 樹リストで名称も変更できるようになりました。</p>
57	45° エルボ付き掃除口の作図機能を追加	<p>[配管]タブ-[配管]のコンテキストメニュー[継手の変更]の候補に45° エルボ付き掃除口を追加しました。 選択すると曲がり部分にチーズ、45° エルボ、掃除口が発生します。 プロパティ項目[材料]-[部材名]の候補に45° エルボ付き掃除口を追加しました。 エルボのコンテキストメニュー[掃除口を付ける]-[チーズ+45° エルボ+掃除口]を追加しました。 [配管]タブ-[その他の編集]-[向きの反転]でチーズを選択したり、[流れの設定]で[流れに沿って継手の向きを変更する]にチェックを入れて流れを変えることで、45° エルボ、掃除口の向きが変わります。 移動などの編集でもチーズと一緒に移動されます。</p>
58	フランジなどの媒介に対して、媒介が発生する機能を追加	<p>[配管]タブ-[材料の設定]-[接合方法]の設定から発生した媒介の工法タイプに対して、設定から再度媒介が発生する機能を追加しました。 相フランジに対しても、設定から媒介が発生します。管材の「硬質塩化ビニル管」-「ACドレンパイプ」、継手の「硬質塩化ビニル管用継手」-「ACドレン継手」の材料タイプを「ACドレン管」に変更しました。[配管]タブ-[材料の設定]-「ACドレンパイプ+ACドレン継手」の[接合方法]に「差込み接着接合(VP)」を追加し、[異種管接合]タブに「ACドレン管」と「硬質塩化ビニル管」の設定を追加しました。</p>
59	材料サブセットに複数の配管を設定	<p>[配管]タブ-[材料の設定]で、「使用する配管、ダクト」に[追加][条件の編集]ボタンを追加して1つのサブセットに対して複数の配管を設定できるようにしました。 [ダクト材料]と[配管材料]-[冷媒用銅管][冷媒用アルミ管]は追加できません。複数の配管を設定した場合、[配管のルート作図]や[サイズの変更]などで、サイズに応じて配管が自動で切り替わります。 [設定]-[図面の初期値]タブ-[コマンドの初期値]-[レイアウト・レイヤー]-[材料]でも同様に設定できます。</p>
60	材料サブセット単位で冷媒管の保温外径を設定	<p>[配管]タブ-[材料の設定]で、冷媒管(2管式、3管式)の保温外径を設定できるようにしました。 冷媒管の複線表現の幅と厚みが変わります。 [設定]-[図面の初期値]タブ-[コマンドの初期値]-[レイアウト・レイヤー]-[材料]でも同様に設定できます。</p>
ダクト		
61	制気口と角ダクトのクイック結合対応	<p>制気口と角ダクトの[クイック結合]に対応しました。 制気口とボックスの[クイック結合]と同様に、複数の制気口を同時に結合することもできます。</p>

62	ボックス付きで排煙口を配置	排煙口をボックス付きで配置できるようにしました。 [制気口の配置]ダイアログでネックの長さ[LH(高さ)]を0にすると、排煙口にボックスを直付けした状態で配置できます。
63	制気口のプロパティパネルから風量を変更	制気口のプロパティ項目[計算]-[風量]を直接編集することで、風量を変更できるようにしました。
64	制気口の額縁サイズ	制気口の額縁のサイズを変更できるようにしました。 「レジスター」「ブリーズライン」「カームライン」「アネモ(角型)」「バン(角型)」「ガラリ」「排煙口」に以下のプロパティを追加しました。 ・[FW(外枠の横)] ・[FH(外枠の縦)] ・[FD(外枠の厚み)] 「アネモ(丸型)」「バン(丸型)」に以下のプロパティを追加しました。 ・[FD(外枠の直径)] ・[FH(外枠の厚み)]
65	制気口の配置時に風量と開口比を指定	[ダクト]タブ-[制気口]のパラメータ設定に[風量][開口比][有効面積]を追加しました。 設定した[風量][開口比]から[有効面積]が自動で計算されます。「ウェザーカバー」「ガラリ」「フード」は対象外です。 併せて、制気口のプロパティ項目[部材情報]に[開口比][有効面積]を追加しました。 制気口のプロパティ項目[計算]-[風量]とプロパティ項目[部材情報]-[開口比]は[制気口の編集]で編集できます。 [機器器具]タブ-[システム記号][ユーザー記号]で、制気口が複線部材として設定されている記号でも同様の機能を追加しました。
66	内貼りの保温の表現を追加	ボックス、チャンバー、羽子板で内貼りの保温をした時に保温厚を点線で表示できるようにしました。 [表示]タブ-[図面表現]-[配管・ダクト・電気共通]-[複線の表現]の「保温」グループに[内貼りの保温を表示する]の項目を追加しました。 併せて[設定]-[図面の初期値]タブ-[図面の表現]-[配管・ダクト・電気共通]-[複線の表現]でも同様に追加しました。
配管/ダクト 共通		
67	サイジングに区間内の最大サイズでサイズを設定する機能を追加	[配管][ダクト]タブ-[サイジング]の[区間選択]に[最大サイズで一定にする]のチェックを追加しました。 チェックを入れると区間内の最大サイズが区間すべてに設定され、チェックを外すと従来通りのサイズが設定されます。
68	ツールチップに風量・流量を表示	ダクトのツールチップに「風量」「風速」、配管のツールチップに「流量」「流速」を表示するようにしました。
サイズ文字		
69	制気口リストから制気口の風量を変更	制気口リストから、制気口の風量を変更できるようにしました。 制気口リストのコンテキストメニュー[風量の変更]を起動すると、制気口リストの風量のセルが編集可能になり、風量を設定できます。
70	制気口リストとリンクする制気口の再リンク	制気口リストとリンクする制気口を再リンクできるようにしました。 制気口リストのコンテキストメニュー[制気口の再リンク]からリンクする制気口を追加・解除できます。
71	制気口リストの室名の自動更新	制気口がある部屋要素の部屋名を更新した時、制気口リストの室名を自動更新するようにしました。 制気口が外部参照図面の部屋内に存在する場合も自動更新します。制気口リスト作成後に部屋を作図した場合、制気口リストのコンテキストメニュー[内容の更新]を実行すると自動更新します。
72	スリーブの[名称記入]の項目に[外径]を追加	[スリーブ・インサート]タブ-[名称記入]に[外径 FL高さ]を追加しました。 [サイズ記入の設定]-[リンク項目追加]から[外径]を選択できるようにしました。単位のあり/なし、カンマの表現のあり/なしを設定できます。 併せて、[配管][ダクト][電気(3D)][スリーブ]タブの[サイズ記入の設定]-[リンク項目追加]に[サイズ(サイズとルート)]を追加しました。 プロパティ項目[サイズとルート]-[サイズ]の内容が表示され、単位のあり/なしを設定できます。

電気		
73	非常用照明の照度範囲の取り付け高さを手動で設定	照明器具にプロパティ項目[非常用照明]-[照度範囲]を追加しました。 取り付け高さの「自動」「手動」を切り替えることができます。「手動」の場合、[取り付け高さ][照度範囲2(x)][照度範囲1(x)][照度範囲0.5(x)][照度範囲0.25(x)]の値を任意の高さで指定可能にしました。 要素のコンテキストメニュー-[部材の編集]や[配光データの編集]で、[非常用照明の設定]の[電灯の種類]または[電灯の形状]を変更した場合や、[部材の編集]で別の部材に変更した場合は、[非常用照明]-[照度範囲]が「自動」変わります。
74	アラウンドビュー、断面図等での電気配線の高さの移動ハンドルを追加	アラウンドビュー、断面図等で電気配線の高さを変更するハンドルを追加しました。 「仰角」が90°のビューで電気配線を選択すると表示されます。
75	器具接続の許容誤差	[電気]タブ-[器具接続]で、位置のずれが用紙上で1mm以内であれば接続するようにしました。
76	電気配線の[整列]コマンドで、配線同士の中心を基準とするハンドルの追加	電気配線の[整列]コマンドで、配線同士の中心を基準として整列を行うためのハンドルを追加しました。
77	配線記号の設定・単線記号の設定の縮尺追加	[電気]タブ-[配線記号の設定]の[縮尺ごとの倍率]に「1/60」「1/300」「1/400」「1/500」「1/600」を追加しました。 また、「1/201～」を「1/601～」に変更しました。 併せて、下記に「1/60」を追加しました。 ・[電気]タブ-[システム記号の配置][ユーザー記号の配置]-[単線の倍率] ・[機器器具]タブ-[ユーザー部材]-[単線の倍率] ・[配管][ダクト]タブ-[単線記号の設定]
建築		
78	防煙区画の追加	防火区画と同様に防煙区画を作図できるようにしました。 Rebro2023(Rev.11)以前のバージョンでもユーザーが追加することで作図可能でしたが、システム項目として[設定]-[一般]タブ-[建築]-[防火・防煙区画の種類]に以下を追加しました。 ・高層区画 ・防火上主要な間仕切壁 ・防煙区画 ・31m超排煙免除 区画の追加に伴い、以下のレイヤーを追加しました。 ・防火区画(高層) ・防火区画(防火上主要な間仕切壁) ・防煙区画 ・防煙区画(31m超排煙免除) 併せて、下記の対応を行いました。 ・[防火区画]の要素名を[防火・防煙区画]に変更しました。 ・Revit/IFCを読み込む時の設定初期値を、RUGで定義されている区画に変更しました。
79	[防火区画貫通の処理材]に因幡電機産業株式会社様の処理材を追加	[設定]-[一般]タブ-[建築]-[防火区画貫通の処理材]に、因幡電機産業株式会社の処理材を35点追加しました。 併せて、下記対応を行いました。 ・処理材「耐火テープ給排水タイプ」への変更(7点) 「PS060WL-1132」、「PS060WL-1133」、「PS060WL-1134」、「PS060FL-1135」、「PS060WL-1168」、「PS060FL-1175」、「PS060FL-1176」 ・認定番号の変更(5点) 「PS060WL-0775-1(旧:PS060WL-0775)」、「PS060WL-0948-1(旧:PS060WL-0948)」、「PS060WL-0949-1(旧:PS060WL-0949)」、「PS060WL-0976-1(旧:PS060WL-0976)」、「PS060WL-1110-1(旧:PS060WL-1110)」 ・処理材の削除(4点) 「PS060FL-0921」、「PS060WL-0974」、「PS060WL-0989」、「PS060WL-0967」
干渉検査		
80	[干渉検査]の離隔と[干渉箇所]の自動回避の対象を追加	[干渉検査]の離隔の対象に壁、屋根、フーチングを追加しました。 [干渉検査]パネルの[開始する]ボタン横の[▼]の「離隔」タブで設定できます。[干渉箇所の自動回避]の対象にメンテナンススペース、天井、床、壁、屋根、フーチングを追加しました。 併せて、レースウェイも回避できるようにしました。 [干渉検査]パネルの「回避」ボタン横の[▼]の[干渉の回避設定]で設定できます。
81	干渉検査のフィルタ	[干渉検査]パネルでフィルタがオフの時、[フィルタの解除]を無効にしました。

拾い集計		
82	拾い集計で、スリーブの仕分け項目を追加	<p>拾い集計で、仕分け項目に以下の項目を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種別(スリーブのみ) ・用途区分(スリーブのみ) ・用途(スリーブのみ) ・支持(スリーブのみ) <p>[仕分けの設定]ダイアログで、分類を「スリーブ・インサート」に設定した時、[拾い集計(テンプレート編集)]ダイアログの[振り分け方法]タブ-[項目]に追加した項目が表示されます。以下の仕分けグループが対象になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スリーブ ・箱入れ
設定全般		
83	[単線記号のオフセット]コマンドをショートカットに追加	[設定]-[一般]タブ-[操作環境]-[ショートカットキー][クイックアクセスツールバー]で、[単線記号のオフセットの変更][単線記号のオフセットのリセット][単線記号のオフセットのリセット(すべてのビュー)]をカテゴリ「配管・ダクト・電気」から設定できるようにしました。
84	図面設定のリセット機能の追加	現在の図面の設定をリセットする機能を追加しました。 [設定]ダイアログ-[設定の読み込み・保存]からメニュー項目[図面の設定に反映する]をクリックすると、[設定]-[図面の初期値]タブ-[コマンドの初期値]のうちリセット可能な項目を指定して現在の図面に設定値を反映することができます。 コマンド実行中にリセットした場合、影響するリボンの内容もリセットされます。
寸法線/汎用図形		
85	要素選択での寸法線作図に対応	<p>[図形]タブ-[寸法線の作図]で、指定方法に「要素選択」を追加しました。 「座標指定」では従来通り引出し位置を座標指定します。 「要素選択」ではクリックした位置に関わらず、要素ごとに特定の引出し位置が指定されます。矩形ダクトなど要素によっては、3箇所以上の有意点が引出し位置に指定される場合があります。</p> <p>併せて、+スペースキーで寸法線の引き出し方向を切り替えができるようにしました。 また、[寸法線の作図]コマンド中も要素のコンテキストメニューに[系統選択][選択要素の拡張][選択要素の絞り込み]のボタンを表示するようにしました。</p>
86	寸法値への接頭語・接尾語の追加	<p>寸法値に、接頭語・接尾語を設定できるようにしました。 [円寸法線]や[角度寸法線]にも対応しており、直径の場合は「φ 150」、半径の場合は「R150」のように書き分けがより容易にできるようになります。</p> <p>また、寸法線のプロパティ項目[基本]-[寸法値の連動]が「自動」の場合、プロパティパネルでも接頭語・接尾語の設定ができます。</p>
部材の新規追加		
87	[盤類]/[受変電設備]の部材追加	<p>[機器器具]タブ-[電気設備]に以下の部材を追加しました。</p> <p>両開き端子盤の部材追加 ・[電気設備]タブ-[盤類]-「端子盤」-「屋外形(後方傾斜)」-「屋外形(前方傾斜)」-「両開き」(2種 6点)</p> <p>両面扉キュービクルの部材追加 ・[電気設備]タブ-[受変電設備]-「キュービクル」-「屋外形」-「両面扉」-「片開き」-「両開き」(2種 10点)</p> <p>扉部材の追加 ・[電気設備]タブ-[受変電設備]-「扉」-「右開き」-「左開き」(2種 2点)</p> <p>防水カバー部材の追加 [電気設備]タブ-[盤類][受変電設備]の屋外型 【該当部材】 ・[盤類]-「防水カバー」(1種 17点) ・[受変電設備]-「防水カバー」(1種 18点)</p> <p>丸環ボルト部材の追加 [電気設備]タブ-[受変電設備]-「丸環ボルト」(1種 14点)</p>
88	サニタリー継手(溶接式)のサイズ追加	[配管]タブ-[継手]-「サニタリー管用継手」-「サニタリー継手(溶接式)」-「チーズ」の「溶接式異径チーズ」に「4.5×1」～「6.5×5.5」(計24点)を追加しました。

89	システム記号「電気用図記号」の追加	<p>[電気][機器器具]タブ-[システム記号]-[一般配線・機器・記号]タブに「電気用図記号」(計167点)を追加しました。</p> <p>併せて、[電気][機器器具]タブ-[システム記号]に下記記号を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[コンセント・スイッチ]タブ-[コンセント](計5点)、「点滅器」(計176点) ・[通信・情報]タブ-[電話・情報設備2](計1点)、「警報・呼出・表示・ナースコール設備」(計4点)、「テレビ共同受信設備」(計9点)、「駐車場管制設備」(計2点) ・[防災・防犯]タブ-[自動火災報知設備1](計3点)、「自動火災報知設備2」(計3点)、「非常警報設備」(計1点)、「消火設備」(計1点)、「自動閉鎖設備」(計8点)、「ガス漏れ警報設備」(計1点)、「監視カメラ設備」(計1点)、「機械警備設備」(計17点) ・[避雷・屋外]タブ-[避雷設備」(計11点)、「屋外設備」(計2点)
90	架橋ポリエチレン管継手、ポリブテン管継手のサイズ追加	<p>[配管]タブ-[継手]-「架橋ポリエチレン管用継手」-「架橋ポリエチレン管継手」及び「ポリブテン管用継手」-「ポリブテン管継手」に下記サイズの部材を追加(計10点)しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「チーズ」-「径違いチーズ」-「16×13×10」「20×16×13」「25×13」「25×16」(4点) ・「ソケット」-「径違いソケット」-「25×20」(1点)
91	耐衝撃性硬質塩化ビニル継手(HI-TS継手)の部材・サイズ追加	<p>[配管]タブ-[継手]-「硬質塩化ビニル管用継手」-「耐衝撃性硬質塩化ビニル継手(HI-TS継手)」に、以下の部材・サイズを追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規追加 「エルボ」-「ショートエルボ」(計3点) ・サイズ追加 「チーズ」-「チーズ」-「200×200」「250×250」「300×300」(計3点) 「チーズ」-「径違いチーズ」-「200×75」「200×100」「200×150」「250×75」「250×100」「250×200」「300×75」(計7点) 「ソケット」-「径違いソケット」-「200×150」「250×200」「300×250」(計3点) ・材料サブセットの追加 「耐衝撃塩ビ管(HIVP)+HI-TS継手」の「使用する継手、ダクト局部」-「耐衝撃性硬質塩化ビニル継手(HI-TS継手)」の「配置方法」の「90° 曲がり」-「ショートエルボ」(計1点) <p>初回起動時:PCの設定に自動追加します。同名が存在する場合、上書きされます。 Rebro2023(Rev.11)より前の図面:図面に自動追加します。同名が存在する場合、(2)と別名で追加されます。</p>
92	大口径ポリブテン管の管材、継手、材料サブセットの追加	<p>大口径ポリブテン管の管材、継手、材料サブセットを追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[配管材料]-[ポリブテン管]-[PBポリブテン管]に管材1種11サイズを追加しました。 「大口径」-「直管」 ・[配管]タブ-[継手]-「ポリブテン管用継手」に、「ポリブテン管継手(H種)」(30種165点)、「ポリブテン管継手(E種)」(7種31点)を追加しました。 ・材料サブセット[ポリブテン管]に「大口径ポリブテン管+H種継手」「大口径ポリブテン管+E種継手」を追加しました。
93	透明DV継手の更新	<p>[配管]タブ-[継手]-「硬質塩化ビニル管用継手」にある「透明DV継手」の部材内容を更新しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイズ名称変更(1種2点) 「ソケット」-「掃除口継手」(サイズ「75」⇒「75(掃除口75)」、「100」⇒「100(掃除口75)」(2点) ・サイズ追加(1種1点) 「ソケット」-「掃除口継手」(サイズ100(掃除口100)(1点)) ・「差込ソケット(伸縮継手)」のゴム輪接続部の接合工法タイプを「差込み(ゴム輪)」に変更しました。 <p>併せて、使用される管材「硬質塩化ビニル管(VP)(VU)」「リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管」「リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管」に、接合方法「差込み(ゴム輪)接合」を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記管材・継手が使用されている材料サブセット「塩ビ管(VP)+透明DV継手」に、接合方法「差込み(ゴム輪)接合」を追加しました。 ・管材の接合方法の追加に伴い、既存の材料サブセット「塩ビ管(VP)+透明DV継手」の「使用する配管、ダクト」-「硬質塩化ビニル管(VP)」を更新しました。 <p>初回起動時:PCの設定に自動追加します。 追加する際、同名が存在する場合、(2)と別名で追加されます。 Rebro2023(Rev.11)より前の図面:図面に自動追加します。 追加する際、同名が存在する場合、(2)と別名で追加されます。</p>
94	排水用硬質塩化ビニル管継手(DV継手)の部材追加	<p>[配管]タブ-[継手]-「硬質塩化ビニル管用継手」-「排水用硬質塩化ビニル管継手(DV継手)」の「エルボ」に「径違い90° エルボ」(1種1点)を追加しました。</p> <p>部材追加に伴い、既存の材料サブセット「塩ビ管(VP)+DV継手/TS継手」「リサイクル硬質塩化ビニル発泡三層管(RF-VP)+DV継手」の「使用する継手、ダクト局部」-「排水用硬質塩化ビニル管継手(DV継手)」の「配置方法」にある「90° 曲がり」に「径違い90° エルボ」を追加しました。</p> <p>初回起動時:PCの設定に自動追加します。 同名が存在する場合、上書きされます。 Rebro2023(Rev.11)以前のバージョンの図面に自動追加します。 同名が存在する場合、(2)と別名で追加されます。</p>

95	排水用硬質塩化ビニル管継手(DV継手)の部材追加	<p>[配管]タブ-[継手]-「硬質塩化ビニル管用継手」にある「排水用硬質塩化ビニル管継手(DV継手)」に以下の部材を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規追加(3種6点) 「100° エルボ」(1種1点)、「Sソケット」(1種2点)、「掃除口継手」(1種3点)、 ・サイズ追加(6種17点) 「45° エルボ」(サイズ200、250、300(3点))、「90° エルボ」(サイズ200、250、300(3点))、「90° Y」(サイズ200、250、300(3点))、「径違い90° Y」(サイズ200×100、200×150(2点))、「ソケット」(サイズ200、250、300(3点))、「インクリーザー」(サイズ200×100、200×125、200×150(3点))
96	配管用ステンレス鋼管用ねじ込み式管継手のサイズ追加・寸法修正、材料サブセットの追加	<p>[配管]タブの[継手]-「ステンレス鋼管用継手」-「配管用ステンレス鋼管用ねじ込み式管継手」の以下の部材にサイズを追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規追加(2種4点) 「クロス」(サイズ6)、「径違いニップル」-「25×10」「32×15」「40×20」(計3点) ・部材配置ツリーのフォルダ名の変更 「ソケット」-「日本継手、吉年」(変更前:「JFE継手、吉年」) ・現行カタログに合わせた寸法修正(15種69点) 「エルボ」-「エルボ」-「32」「100」(計2点)、「径違いエルボ」-「8×6」「ストリートエルボ」-「32」「45°エルボ」-「32」「チーズ」-「径違いチーズ」-「10×6」「15×6」「20×8」「25×8」「32×15」「40×10」「40×20」「50×20」「50×25」(計9点)、「ソケット」-「日本継手、吉年」-「ソケット(テーパ)」-「32」「40」「50」(計3点)、「ソケット」-「日本継手、吉年」-「径違いソケット」-「20×6」「20×8」「25×6」「25×8」「40×10」「50×20」「65×32」「65×40」「65×50」「80×40」「80×65」(11点)、「プッシング」-「50×20」「50×25」「50×32」「50×40」「65×25」「65×32」「65×40」「65×50」(計8点)、「ニップル」-「径違いニップル」-「20×10」(計1点)、「パイプニップル」-「パイプニップル」-「15」(計1点)、「ユニオン」-「6」「8」「10」「15」「20」「25」「32」「40」「50」「65」「80」「100」(計12点)、「フランジ」-「フランジ5K」-「15」「20」「25」「32」「40」「50」「65」「80」「100」(計9点)、「フランジ」-「フランジ10K」-「15」「20」「25」「32」「40」「50」「65」「80」「100」(計9点)、「キャップ」-「6」「8」「15」(計3点)、「プラグ」-「25」(計1点) <p>Rebro2023(Rev.11)以前のバージョンの図面の場合、コンテキストメニュー[部材の編集]で同じ部材に変更した時に今回の変更が適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料サブセット「ステンレス鋼管」に「ステンレス管(Sch40)+ねじ」、「ステンレス管(Sch80)+ねじ」を追加しました。
97	溶接継手、SUS溶接継手の部材追加	<p>[配管]タブ-[継手]-「鋼管用継手」、「ステンレス鋼管用継手」の溶接継手、SUS溶接継手の「キャップ」に以下の部材(計566点)を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鋼管用継手」-「溶接継手(白)」「溶接継手(黒)」「溶接継手Sch40(白)」「溶接継手Sch40(黒)」-「キャップ」-「鋼板製キャップ(水抜き穴15A)」「鋼板製キャップ(水抜き穴20A)」「鋼板製キャップ(水抜き穴25A)」「鋼板製キャップ(水抜き穴32A)」(計256点) ・「ステンレス鋼管用継手」-「SUS溶接継手Sch10S」「SUS溶接継手Sch5S」「SUS溶接継手Sch20S」「SUS溶接継手Sch40」「SUS溶接継手Sch80」-「キャップ」-「キャップ(水抜き穴15A)」「キャップ(水抜き穴20A)」「キャップ(水抜き穴25A)」「キャップ(水抜き穴32A)」(計310点)
98	冷媒用アルミ管の管材、継手、材料サブセットの追加	<p>冷媒用アルミ管の管材、継手、材料サブセットを追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[配管材料]に「冷媒用アルミ管」管材5種55サイズを追加 「空調冷媒用アルミ管」「冷媒用アルミ管(2管式)」「冷媒用アルミ管・保温20mm(2管式)」「冷媒用アルミ管(3管式)」「冷媒用アルミ管・保温20mm(3管式)」 ・[配管]タブ-[継手]-「アルミ管用継手」に「アルミナジョイント - 光陽産業」(3種27点)を追加 ・材料サブセットに「冷媒用アルミ管」5種を追加 「空調冷媒用アルミ管」「冷媒用アルミ管(2管式)」「冷媒用アルミ管・保温20mm(2管式)」「冷媒用アルミ管(3管式)」「冷媒用アルミ管・保温20mm(3管式)」 <p>併せて、[異種管接続]タブに「冷媒用アルミ管」「冷媒用銅管」の設定を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料サブセットの「使用する継手、ダクト局部」に継手3種を追加 「アルミ管用継手」-「アルミナジョイント - 光陽産業」 「冷媒用継手」-「冷媒アルミ管用継手(2管式)」「冷媒アルミ管用継手(3管式)」(2種) <p>また、冷媒アルミ管との区別をつけるため、[配管][ダクト]タブ-[材料の設定]-[材料サブセット]タブ-[使用する継手、ダクト局部]-「冷媒継手」にある以下の継手名称を変更しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「冷媒継手(2管式)」を「冷媒銅管用継手(2管式)」に変更 ・「冷媒継手(3管式)」を「冷媒銅管用継手(3管式)」に変更
部材の変更		
99	[盤類]/[受変電設備]部材の「チャンネルベース高さ」追加	<p>[機器器具]タブ-[電気部材]の下記部材にパラメータ項目「チャンネルベース高さ」を追加しました。</p> <p>【該当部材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[盤類]の全部材(18種 548点) ・[受変電設備]-「開閉器盤」(6種 180点) <p>併せて、[盤類]、[受変電設備]の屋内形、屋外形でパラメータ項目を統一し、[受変電設備]-「キュービクル」「高圧キャビネット」の全7種 54点の基準位置を、背面下端中央に変更しました。</p> <p>Rebro2023(Rev.11)以前のバージョンの図面の場合、コンテキストメニュー[部材の編集]で同じ部材に変更した時に今回の更新が適用されます。</p>

100	<p>【盤類】/【受変電設備】の屋外形部材に屋根の傾斜設定を追加</p>	<p>【機器器具】タブ-[電気部材]の下記部材に屋根傾斜を設定するパラメータ項目を追加しました</p> <p>【該当部材】</p> <p>【盤類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「電灯動力盤」-「屋外形(後方傾斜)」/「屋外形(前方傾斜)」(4種 72点) ・「制御盤」-「屋外形(後方傾斜)」/「屋外形(前方傾斜)」(4種 72点) ・「端子盤」-「屋外形(後方傾斜)」/「屋外形(前方傾斜)」(4種 18点) <p>【受変電設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「キュービクル」-「屋外形」-「片面扉」/「両面扉」-「片開き」/「両開き」(6種 30点) ・「開閉器盤」-「屋外形(後方傾斜)」/「屋外形(前方傾斜)」(4種 72点) <p>Rebro2023(Rev.11)以前のバージョンの図面の場合、コンテキストメニュー[部材の編集]で同じ部材に変更した時に今回の更新が適用されます。</p>
101	<p>システム記号の複線部材の再割り当て</p>	<p>下記のシステム記号で複線部材の割り当てを変更しました。</p> <p>Rebro2023(Rev.11)以前のバージョンの図面の場合、コンテキストメニュー[部材の編集]で同じ記号に変更した時に変更が適用されます。</p> <p>【該当部材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【コンセント・スイッチ】タブ-[開閉器・計器]-「電極切替函」(計2点) ・【配電盤・分電盤】タブ-[配電盤]/[配電盤(実寸)]-「配電盤(片開き)」/「配電盤(両開き)」/「配電盤 防災電源回路用(片開き)」/「配電盤 防災電源回路用(両開き)」(計12点)、[分電盤]/[分電盤(実寸)]-「分電盤(片開き)」/「分電盤(両開き)」/「分電盤 防災電源回路用(片開き)」/「分電盤 防災電源回路用(両開き)」(計12点)、[制御盤]/[制御盤(実寸)]-「制御盤(片開き)」/「制御盤(両開き)」/「別途制御盤(片開き)」/「別途制御盤(両開き)」/「制御盤 防災電源回路用(片開き)」/「制御盤 防災電源回路用(両開き)」(計16点)、【電灯動力盤】/【電灯動力盤(実寸)】-「電灯動力盤(片開き)」/「電灯動力盤(両開き)」/「電灯動力盤 防災電源回路用(片開き)」/「電灯動力盤 防災電源回路用(両開き)」(計8点)、【その他盤類】/【その他盤類(実寸)】-「警報盤(片開き)」/「警報盤(両開き)」/「実験盤(片開き)」/「実験盤(両開き)」/「OA盤(片開き)」/「OA盤(両開き)」/「中央監視盤(片開き)」/「中央監視盤(両開き)」/「リモートステーション盤(片開き)」/「リモートステーション盤(両開き)」/「その他盤類(片開き)」/「その他盤類(両開き)」(計24点) ・【通信・情報】タブ-[電話・情報設備1]-「集合保安器」/「端子盤」/「中間端子盤」/「主端子盤」/「局線用端子盤」/「本配線盤」/「中間配線盤」/「局線表示盤」、[電話・情報設備2]-「情報用機器収容箱」、[警報・呼出・表示・ナースコール設備]-「警報盤」/「表示器(盤)」/「表示付スイッチ(発信器)」/「表示スイッチ盤(発信器)」/「在否表示盤親機」、[テレビ共同受信設備]-「機器収容箱」/「TV用機器収容箱」、[駐車場管制設備]-「管制盤」 ・【防災・防犯】タブ-[自動火災報知設備1]-「差動式分布型感知器 試験器箱」、[自動火災報知設備2]-「移報器」、[非常警報設備]-「電源部(操作部)」/「機械警備設備」-「警報制御盤」 ・【避雷・屋外】タブ-[避雷設備]-「端子箱」
102	<p>排水用硬質塩化ビニル管継手(DV継手)の更新</p>	<p>【配管】タブ-[継手]-「硬質塩化ビニル管用継手」の「排水用硬質塩化ビニル管継手(DV継手)」の部材内容を更新しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行カタログに合わせた寸法に変更しました。 「差込ソケット」-「40」「50」「65」「75」「100」「125」「150」(7点) 「やりとり補修ソケット」-「50」「75」「100」「125」(計4点) 「バルブ用ソケット」-「40」「125」(計2点) 「通気口」-「65」「75」(計2点) ・廃番となったサイズを削除しました。 「エルボ」-「90° 大曲りエルボ」(1種3点)、「エルボ」-「90° エルボ」(1種5点)、「45° エルボ」(1種5点)、「チーズ」-「90° Y」(1種4点)、「チーズ」-「径違い90° Y」(1種6点)、「チーズ」-「90° 大曲がりY」(1種2点)、「チーズ」-「径違い90° 大曲がりY」(1種2点)、「チーズ」-「掃除口付き90° 大曲がりY」-「右90° 大曲がりY」(1種2点)、「チーズ」-「掃除口付き90° 大曲がりY」-「左90° 大曲がりY」(1種2点) 「45° Y」-「45° Y」(1種1点)、「45° Y」-「径違い45° Y」(1種1点)、「ソケット」-「ソケット」(1種5点) 「ソケット」-「インクリーザー」(1種6点)、「やりとり補修ソケット」(1種1点)、「鋼管用アダプター」-「成型品」(1種1点)

IV.仕様変更

全32件

No.	タイトル	内容
加工		
103	番号記入コマンドの作図方法	[加工]タブ-[配管加工の番号記入][角ダクト加工の番号記入][スパイラルダクト加工の番号記入]および[ツール]タブ-[樹番号記入]の各コマンドで、以下の仕様変更を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ・範囲選択した時、複数のサイズ記入文字が作図できるようになりました。 ・「中央」で作図した場合、要素を選択したタイミングで確定するようになりました。
操作性/各種パネル		
104	高さ関連の項目をプロパティ項目の[サイズとルート]から[フロアと高さ]に移動	下記項目をプロパティ項目の[サイズとルート]から[フロアと高さ]に移動しました。 [基準フロア][シャフト][高さ][天端高さ][天端高さ(上側)][天端高さ(下側)][下端高さ][天端高さ(保温含む)][下端高さ(保温含む)][下端高さ(耐火被覆含む)][基準フロア(上流側)][高さ(上流側)][天端高さ(上流側)][下端高さ(上流側)][天端高さ(保温含む)(上流側)][下端高さ(保温含む)(上流側)][基準フロア(下流側)][高さ(下流側)][天端高さ(下流側)][下端高さ(下流側)][天端高さ(保温含む)(下流側)][下端高さ(保温含む)(下流側)][梁下高さ][梁下高さ(上側)][梁下の高さ(下側)][梁下の最低高さ][梁下の最低高さ(上側)][梁下の最低高さ(下側)] プロパティ項目[フロアと高さ]に移動したことで、異なる要素(汎用図形と機器器具など)の基準フロアなどを一括変更できるようになります。 システム管理などで今回移動したプロパティ項目を指定している場合は、それらも変換されます。そのため、壁や柱など既存の[サイズとルート]-[高さ]のまま残る項目についても、システム管理の仕分け項目が[フロアと高さ]-[高さ]に自動変換されるため、既存の項目のまま使用したい場合は、再度仕分け項目を選択し直す必要があります。 [ユニット図][ダクト単品図]などのテンプレート図面に、移動した項目を使用している場合は、カテゴリ名を変更する必要があります。
105	線上点の仮表示	座標指定で、有意点を仮選択した時に要素全体の色が変わっていましたが、線上点の場合のみ線だけが変わるように変更しました。
106	プロパティ項目[形状]-[網掛けの位置]の初期値を「移動する」に変更	プロパティ項目[形状]-[網掛けの位置]の初期値を「移動する」に変更しました。 また、[図形]タブ-[注記]-[網掛けの作図]コマンドのリボンに[網掛けの位置]を設定できる項目を追加しました。 DWG/DXFファイルを読み込む際、網掛けのプロパティ項目[形状]-[網掛けの位置]を「移動する」で読み込むようになりました。
シミュレーション		
107	設定や要素に属性を追加し、圧力損失計算の抵抗係数、風速の求め方を変更	[設定]-[一般]タブ-[配管・ダクト・電気共通]-[技術計算]-[ダクト]タブ-[ダクト局部の抵抗係数]の内容を追加・変更しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・金網に対して流入/流出の項目を設定して区別するようになりました。 ・ボックス、羽子板、チャンバーの選択肢に「消音ボックス(急拡大・急縮小なし)」を追加しました。 ・矩形ダンパーに対して羽の種類を判断する閾値を追加しました。 ・[ダクト]タブ-[ダンパー]に[羽の種類]を追加しました。 ・[ダクト]タブ-[部材]-[角ダクト部材]/[スパイラルダクト部材]/[円形ダクト部材]-「金網」に[種類]を追加しました。 ・シミュレーションパネル[圧力損失計算]の抵抗係数の求め方を変更しました。 ・ボックス、羽子板、チャンバーの抵抗係数を求める為の入側のサイズをWHの平均値から面積の平方根に変更しました。 ・ボックス寸法は出側と平行なボックス寸法と入側と平行なボックス寸法を使用していましたが、出側と平行なボックス寸法と出側と直交するボックス寸法の小さい方を使用するように変更しました。 ・ボックス、羽子板、チャンバーで「消音ボックス(急拡大・急縮小なし)」が設定されているとボックス前後の「急拡大」「急縮小」を無くしました。 ・金網の風速を開口比を考慮するように変更しました。要素に設定されている開口比が使用されず、「抵抗係数設定と同じ」場合は設定の開口比が使用されます。 ・金網の抵抗係数を流入/流出で区別して参照するようになりました。 ・ダンパーの抵抗係数を要素の[羽の種類]と設定の閾値により一枚羽根/平行翼/対向翼を判断し、参照するようになりました。閾値はハンドル側の寸法で判断します。 ・角丸ホッパーの漸拡大、漸縮小の抵抗係数、風速を入側の形状により「長方形漸拡大」/「円形漸拡大」、「長方形漸縮小」/「円形漸縮小」を判断していましたが、出側の形状により判断するように変更しました。 ・チーズの円形合流(直通)、ドン付けの長方形直角合流(直通)の抵抗係数を表中の条件値の間値は大きい値を参照していましたが、小数第3位で四捨五入して中間値と以下の場合は、下の値を参照するように変更しました。
108	風量、流量の設定のラバーを、ア라운드ビューを含めたすべてのビューで表示	[ダクト]タブ-[風量の設定]、[配管]タブ-[流量の設定]で、ラバー表示をア라운드ビューを含めたすべてのビューで表示するように変更しました。 ビューで非表示の要素の場合は、ラバーを表示しません。 以前はア라운드ビューを除く、選択ビューでのみラバーを表示していました。

CG		
109	CGのプロパティ位置のリセット	[設定]-[一般]タブ-[操作環境]-[ウィンドウ・パネル]の[レイアウトを出荷時の位置に戻す]で、CGの[プロパティ]パネルも出荷位置にリセットするように変更しました。
文字		
110	[文字の編集]で複数のリンク文字を編集した場合、リンク先を維持	[文字の編集]で複数のリンク文字を編集した場合、ハンドルが表示される文字の内容で他の文字のリンク先が変わっていましたが、維持するように変更しました。
配管		
111	[冷媒サイズの設定]から[施工モードで冷媒サイズの記号を使用する]を廃止	[配管]タブ-[冷媒サイズの設定]から[施工モードで冷媒サイズの記号を使用する]を廃止し、「設計(機械)モード」「施工(機械)モード」に依らず、冷媒サイズの選択が同じ項目で作図、編集できるように変更しました。 [「サイズ」を記入する時に冷媒サイズ記号を使用する]のチェックを追加し、冷媒管のサイズ記入文字のリンク項目[サイズ]で記入される内容が切り替わるようにしました。[配管記号の記入]の「単位付き」で記入されるサイズも切り替わります。 [施工モードで冷媒サイズの記号を使用する]のチェックが外れている状態で保存された既存の図面を開くと、[「サイズ」を記入する時に冷媒サイズ記号を使用する]のチェックが外れ、「設計(機械)モード」で記入されたサイズ記入文字の内容が編集で変わります。
ダクト		
112	フレキシブルダクトの枝を作図時、チーズの材料サブセットをフレキシブルダクトからスパイラルダクトに変更	スパイラルダクトからフレキシブルダクトを枝として作図した場合、チーズのプロパティ項目[材料]-[材料サブセット]がフレキシブルダクトの材料サブセットでしたが、スパイラルダクトの材料サブセットに変更しました。 既存の図面は変わりません。
113	[板厚 t1.5mm以上]の設定によるハッチング表示範囲に保温厚を含まない	ダクトのプロパティ項目[ダクト形状]-[板厚t1.5mm以上]が「はい」の場合、ハッチング表示範囲に保温厚を含まないように変更しました。 キャンパスのハッチング表示範囲も保温厚を含まないように変更しました。 ボックスのハッチング表示範囲も外貼り部分を含まないように変更しました。 図面を開いた時点で、表現が変わります。
114	ニューホープの作図でチーズなどの継手に保温を付ける	[ダクト]タブ-[フレキシブルダクト]でニューホープを選択した場合も[保温]のチェックを有効に変更しました。 ニューホープから枝を作図した場合、チーズなどの継手にリボンの保温の情報が設定されるようにしました。 [ダクト]タブ-[堅ダクト]も同様の動作になります。
配管/ダクト 共通		
115	サイジングの「指定部分」を「区間選択」に変更	[配管][ダクト]タブ-[サイジング]の「指定部分」を「区間選択」に変更しました。 サイジングするルートを区間で選択できるようになりました。
116	[分割]コマンドの統合	単体指定の[分割]を廃止し、[分割(複数点指定)]のコマンド名を[分割]に変更しました。
117	シャフト属性が「はい」でも接続しているルートが表示されている場合、分岐を表示	ビューやレイアウトの[フロアの表示/非表示]で表示するフロアを制御した場合、配管やダクト、ケーブルラックなどのプロパティ項目[サイズとルート]-[シャフト]-「はい」の分岐はフロア情報でなく要素の位置で表示/非表示を判断していましたが、接続しているルートが表示されている場合は分岐も表示するように変更しました。
118	作図で機器の基準点を指定してもエラーメッセージを表示しない	[電気]タブ-[電線管]で、キュービクルなど機器の基準点を指定した場合、不要なエラーメッセージを表示しないように変更しました。 終点で機器の基準点を指定した場合に現象が発生していました。 [電気]タブ-[電線管]以外の作図コマンド、[配管][ダクト]タブの作図コマンドでも同様の現象がありました。
電気		
119	条数記号の[記号]と[添字]の倍率をそれぞれに設定可能	[電気]タブ-[条数記号]-[記号]と[添字]の倍率がそれぞれに設定されるように変更しました。
120	電気モード・電気版レプロのリボン変更	電気モード・電気版レプロで、[電気]タブを[電気(2D)][電気(3D)][電気(ツール)]に分けました。 サブメニュー内のコマンドもリボン上に個別の項目として表示するようになりました。 併せて、設計/施工モードの[電気]タブ-[回路の種類]を[盤のタイプ]のサブメニューから[回路番号]のサブメニューに移動しました。

機器/器具		
121	Uボルトの名称,型番	Uボルトのプロパティ項目[部材情報]-[名称][型番]を読み取り専用に変更しました。
122	機器番号を個別に回転	要素のコンテキストメニュー[汎用編集]-[回転移動]で、機器番号も個別に回転できるように変更しました。 [個別に回転する]のチェックを入れると、個別に回転できます。
123	添字の編集で添字サイズを一括で同じサイズに変更	単線記号のコンテキストメニュー[添字の編集]の[サイズ]に、プロパティ項目[単線]-[添字のサイズ]が表示されるように変更しました。 記号の倍率の異なる単線記号の添字のサイズを一括で同じサイズに変更するようにしました。 複数の単線記号を選択した場合、内容が異なると[添字][サイズ]は「空白」となり、文字書式の[詳細]ダイアログ-[その他]タブ-[基準縮尺]はラジオボタンが選択されていない状態となります。 状態を変更するとすべての単線記号に反映されます。 単線記号のコンテキストメニュー[添字の追加]も、プロパティ項目[単線]-[記号の倍率]が「100%」以外でも指定したサイズで追加されるように変更しました。
124	電気単線記号の倍率をJECA基準に変更	[部材の配置]で、[システム部材][システム記号]で電気系の単線記号の[単線の倍率]の初期値をSHASE基準の倍率からJECA基準の倍率に変更しました。 レプロの初回起動時にRebro2023の設定を引き継いだ場合、部材の配置時の[単線の倍率]の前回は、SHASE基準の倍率となります。
建築		
125	フロアの[削除]	[建築]タブ-[フロアの設定]の削除ボタンを常に有効にするように変更しました。 削除できないフロアを選択した状態で[削除]ボタンを押すとエラーメッセージがでます。
ツール		
126	[メンテナンススペースの配置][点検口の配置]のコンテキストメニュー追加	[メンテナンススペースの配置][点検口の配置]を以下の要素のコンテキストメニューに追加しました。 コンテキストメニューから起動すると要素と連動します。 弁類、BSユニット、樹類、集合管、冷媒管ラック、ボックス、チャンパー、ダンパー、キャンパス、短管、制気口、風量測定口、電気分岐ボックス、電気ボックス、電気配線(立上り・引下げ)、エンド伏せ また、メンテナンススペースと点検口のコンテキストメニューにあった[機器とリンク][機器とリンク解除]の表記を[リンクの編集][リンクの解除]に変更しました。 併せて、[ツール]タブ-[メンテナンススペース]-[リンクの追加][リンクする機器を解除]の表記を[リンクの編集][リンクの解除]に変更しました。
アドイン		
127	Revit(rvt)ファイルの保存で順次出力に対応	Revit連携の[Revit(rvt)ファイルの保存]で既に保存中のタスクがある場合、現在のファイルの保存の完了後に自動で次のファイルの保存が開始されるようにしました。 [Revit(rvt)ファイルの保存管理]ダイアログの[開始]を押すことで、複数のファイルを同時に保存することも可能です。
データリンク		
128	データリンクの仕様変更	[ツール]タブ-[データリンク]において、以下の仕様変更を行いました。 【セル指定で全ての値を表示】 データリンクの出力において、異なるプロパティ値を同一セルに出力する場合、カンマ区切りで全てのプロパティ値を出力するように仕様変更しました。 従来は空欄になっていました。 【盤項目指定で1次側項目に対応】 データリンクの[盤の項目の設定]で、盤情報(1次側)を定義できるようにしました。併せて「運転時の定格/最大電流(合計)」を出力できるようにしました。 これに伴い、[電気]タブ-[盤の管理]-[データリンクの設定を出力]も盤情報(1次側)および「運転時の定格/最大電流(合計)」に対応しました。 【[盤の項目の設定]枠の移動・サイズ変更対応】 [ツール]タブ-[データリンク]-[Excelのセル位置指定]ダイアログにおいて、[盤の項目の設定]枠の移動・サイズ変更に対応しました。 【[盤の項目の設定]の「なし」の挙動変更】 データリンクの[盤の項目の設定]で「なし」を定義した場合、これまでは空文字を出力していましたが、なにもしないように仕様変更しました。 これにより、「なし」を定義した列に関数を配置しても関数が上書きされることはありません。 【データリンクに出荷値を新設(日本版のみ)】 弊社で公開しているデータリンクのサンプルを出荷値にしました。 新規・引継ぎに関わらず、Rebro2024を初めて起動すると、すべてのユーザに出荷値が設定されます。 【その他】 ・[盤の項目の設定]ダイアログの行の追加方法を変更しました。 ・データリンク出力するとき、データリンクの基準範囲のあるシートを現在のシートに設定するようにしました。従来は最後のシートが現在のシートになっていました。

部材の変更		
129	TS継手の部材、材料サブセットの更新	<p>[配管]タブ-[継手]-[硬質塩化ビニル管用継手]-「硬質塩化ビニル継手(TS継手)」の部材内容を更新しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規追加 「エルボ」-「ショートエルボ」(計3点) ・サイズ追加 「チーズ」-「チーズ」-「200」「250」「300」(計3点)、「チーズ」-「径違いチーズ」-「200×75」「200×100」「200×150」「250×75」「250×100」「250×200」「300×75」(計7点)、「ソケット」-「径違いソケット」-「200×150」「250×200」「300×250」(計3点) ・参考メーカーの廃番に伴う別メーカー部材の追加 「90° ベンド」-「250」「300」(計2点)、「45°ベンド」-「250」「300」(計2点)、「22.5° ベンド」-「250」「300」(計2点)、「11.25° ベンド」-「250」「300」(計2点)、「5.625° ベンド」-「200」「250」「300」(計3点)、「ソケット」-「ソケット」-「250」「300」(計2点) ・廃番に伴う部材削除 「ソケット」-「レジャーサ」、「VCソケット」 <p>併せて、既存の材料サブセット「塩ビ管(VP)+DV継手/TS継手」、「塩ビ管(水道用VP)+TS継手」の「使用する継手、ダクト局部」-「硬質塩化ビニル継手(TS継手)」の[配置方法]で下記を更新しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「直進」の「レジャーサ」を削除 ・「90° 曲がり」の「ショートエルボ」を追加 ・「22.5° 曲がり」の「22.5° ベンド」、「11.25° 曲がり」の「11.25° ベンド」、「5.625° 曲がり」の「5.625° ベンド」を更新 <p>初回起動時:PCの設定に自動追加します。 同名が存在する場合、上書きされます。 Rebro2023(Rev.11)以前のバージョンの図面:図面に自動追加します。 同名が存在する場合、(2)と別名で追加されます。</p>
130	HI-TS継手の部材、材料サブセットの更新	<p>[配管]タブ-[継手]-[硬質塩化ビニル管用継手]-「耐衝撃性硬質塩化ビニル継手(HI-TS継手)」の部材内容を更新しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃番に伴う部材削除 「ソケット」-「レジャーサ」(計1点)、「VCソケット」(計1点) ・廃番に伴うサイズ削除 「90° ベンド」-「250」「300」(計2点)、「45° ベンド」-「250」「300」(計2点)、「22.5° ベンド」-「250」「300」(計2点)、「11.25° ベンド」-「250」「300」(計2点)、「5.625° ベンド」-「200」「250」「300」(計3点) ・参考メーカーの廃番に伴う別メーカー部材の追加 「ソケット」-「ソケット」-「250」「300」(計2点)、「5.625° ベンド」-「200」(計1点) <p>併せて、既存の材料サブセット「耐衝撃塩ビ管(HIVP)+HI-TS継手」の「使用する継手、ダクト局部」-「耐衝撃性硬質塩化ビニル継手(HI-TS継手)」の[配置方法]で下記を更新しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「直進」の「レジャーサ」を削除 ・「22.5° 曲がり」の「22.5° ベンド」、「11.25° 曲がり」の「11.25° ベンド」、「5.625° 曲がり」の「5.625° ベンド」を更新
131	パッケージエアコン部材に、プロパティ項目「冷媒名」を追加	<p>[機器器具]タブの下記システム部材/記号に、プロパティ項目[部材情報]-[冷媒名]を追加しました。 機器で使用する冷媒の情報としてご利用いただけます。</p> <p>【該当部材】 《システム部材》 [空調機器]-[パッケージエアコン]-「ビル用マルチ」-「室内機」「室外機」(38種176点)、「ビル用マルチ - ダイキン工業」-「室内機」「室外機」「室内機 - ガスヒートポンプ」「室外機 - ガスヒートポンプ」(91種410点)、「ビル用マルチ - パナソニック電工」-「室内機」「室外機」(13種77点)、「店舗・オフィス用」-「室内機」「室外機」(30種181点)、「店舗・オフィス用 - ダイキン工業」-「室内機」「室外機」(26種124点)、「店舗・オフィス用 - パナソニック電工」-「室内機」「室外機」(17種58点)、「住宅設備用」-「室内機」「室外機」(7種56点)</p> <p>《システム記号》 [機器器具]タブ-[空調機器(PAC)]-「ビル用マルチエアコン」~「ビル用マルチエアコン (室外機) 2 [断面]」、「店舗・オフィス用エアコン」~「店舗・オフィス用エアコン (室外機) [断面]」(計38点)、「一般配線・機器・記号」タブ-[機器]-「ルームエアコン」「パッケージ型空調機」(計2点) Rebro2023(Rev.11)以前のバージョンの図面の場合、コンテキストメニュー[部材の編集]-[複線部材を基準にリセット]を行うと、今回の変更が適用されます。</p> <p>併せて、[ユーザー部材の配置]/[メーカー提供部材の配置]-[プロパティ]タブ-「追加」、「編集」の[部材のプロパティ]ダイアログで、プロパティ項目「冷媒名」を選択できるようにしました。</p>

132	ダクトE管継手の部材の更新	<p>[ダクト]タブ-[部材]-[換気用配管部材]タブ-「ダクトE管継手」の部材内容を更新しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 以下の部材について、現行カタログに合わせた寸法に変更しました。 <p>「エルボ」-「フランジタイプ90° エルボ」-「500」(計1点)、「45° エルボ」-「フランジタイプ45° エルボ」-「150」「200」「250」「300」「350」「400」「450」「500」(計8点)、「チーズ」-「スリーブタイプチーズ」-「150」「200」(計2点)、「チーズ」-「径違いスリーブタイプチーズ」-「150×100」「150×125」「250×125」「250×150」「250×200」(計7点)、「チーズ」-「フランジタイプチーズ」-「150」「250」(計2点)、「チーズ」-「径違いフランジタイプチーズ」-「150×100」「150×125」「250×125」「250×150」「250×200」(計5点)、「ソケット」-「フランジタイプレジャーサー」-「300×150」「300×200」「300×250」「350×200」「350×250」「350×300」「400×300」「400×350」「450×300」「450×350」「500×300」「500×350」「600×350」(計13点)、「ソケット」-「伸縮継手」-「125」「500」(計2点)、「片落ちレジャーサー」-「フランジタイプ片落ちレジャーサー」-「300×150」「300×200」「300×250」「350×200」「350×250」「350×300」「400×300」「400×350」「450×300」「450×350」「500×300」「500×350」(計12点)、「フランジ」-「ダクト管用フランジ(TS式)」-「300」「350」(計2点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 廃番となったサイズを削除しました。 <p>「片落ちレジャーサー」-「スリーブタイプ片落ちレジャーサー」-「600×350」「600×400」「600×450」「600×500」(計4点)、「片落ちレジャーサー」-「フランジタイプ片落ちレジャーサー」-「600×350」「600×400」「600×450」「600×500」(計4点)</p> <p>Rebro2023(Rev.11)以前のバージョンの図面の場合、コンテキストメニュー[部材の編集]で同じ部材に変更した時に今回の変更が適用されます。</p>
133	ダクトE管継手の材料サブセットの更新	<p>「ダクトE管継手」部材更新に伴い、材料サブセット「塩化ビニル管ダクト」で下記を更新しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> [接合方法]-「フランジ接合(差込み接着)」-「接合に用いる部材」-「ダクト管用フランジ(TS式)」 「使用する継手、ダクト局部」-「ダクトE管継手」-「配置方法」-「直進(偏芯)」-「スリーブタイプ片落ちレジャーサー」-「チーズ」-「スリーブタイプチーズ」-「径違いスリーブタイプチーズ」 <p>初回起動時:PCの設定に自動追加します。 同名が存在する場合、上書きされます。 Rebro2023(Rev.11)以前のバージョンの図面:図面に自動追加します。 同名が存在する場合、(2)と別名で追加されます。</p>
134	「EFロング枝付異径チーズ」,「EFロング枝付チーズ」のパラメータ項目見直し	<p>[配管]タブ-[継手]-「ポリエチレン管用継手」-「ポリエチレン管用継手」-「水道用ポリエチレン管EF継手」,「水道用耐震型高性能ポリエチレン管継手(エスロハイパーAW) - 積水化学工業」にある「チーズ」-「EFロング枝付チーズ」,「EFロング枝付異径チーズ」のパラメトリック項目「枝管差込み代」を読み取り専用項目に変更しました。</p>

V.不具合修正

全47件

No.	タイトル	内容
操作性		
135	[ツール]タブ-[属性記入]のボタンサイズ変更	[ツール]タブ-[属性記入]のボタンを[メンテナンススペース]と同じ大きさに修正しました。
Rebro図面		
136	[Rebro読み込み]で既存の非表示レイヤーが表示される	[Rebro読み込み]で、レイヤー設定を「元の図面のグループを引き継ぐ」かつ「既存のレイヤーに読み込む」で読み込むと、既存の非表示のレイヤーが表示状態に変わる不具合を修正しました。
137	旧バージョンのレプロ向けの基本部材パックが有効になる	[設定]-[一般]タブ-[部材(マルチランゲージ)]-[部材パック]-[部材パックの登録]で、旧バージョンのレプロ向けの基本部材パックが有効になる不具合を修正しました。
外部参照		
138	[外部参照]で外部参照図面のレイヤーが追加されると表示状態が変わる	[外部参照]で、外部参照図面のレイヤーが追加された場合、レイヤーの表示状態が変わる不具合を修正しました。 併せて、[外部参照]で外部参照図面を別ファイルに差し替えると、レイヤーの表示状態が変わる不具合を修正しました。
BE-Bridge/IFC		
139	BE-Bridge形式で保存するとエラーが表示される	[BE-Bridgeファイルとして保存]で、「無効な要素に対してバックアップが行われました。」のエラーメッセージが表示されて保存できない不具合を修正しました。 [加工]タブ-[番号記入]で作図した加工番号要素が存在する場合に現象が発生していました。
140	IFC形式で保存した時にフレキシブルダクトがDWGファイルに出力されない	[IFCファイルとして保存]で[2D図面を保存する(DWG)]にチェックを入れた時、DWGファイルに一部のフレキシブルダクトが出力されない不具合を修正しました。
DXF/DWG		
141	[DXF/DWGファイルとして保存]で網掛けが出力されない	[DXF/DWGファイルとして保存][JWWファイルとして保存]で、網掛けに背景が用紙色の記号や文字などが複数重なるように正しく出力されない不具合を修正しました。
142	[DXF/DWGファイルとして保存]で寸法線の文字の色が異なる色で保存される	[DXF/DWGファイルとして保存]で、寸法線の文字の色が異なる色で保存される不具合を修正しました。 以下の条件を満たす場合に現象が発生していました。 ・[表示]タブ-[レイヤー一覧]で「色」が[ビュー用デザイン]または[レイアウト用デザイン]で上書きされている ・寸法線のプロパティ項目[寸法値]-[文字の色]が「要素色」以外 [JWWファイルとして保存]でも同様の現象がありました。
143	[DXF/DWG読み込み]で非表示の部分も読み込まれる	[DXF/DWG読み込み]で、外部参照の中の外部参照がクリップされている場合、クリップで非表示の部分も読み込まれる不具合を修正しました。
144	[DXF/DWG読み込み]でSHXフォントを指定した文字が「MS Pゴシック」で読み込まれる	[DXF/DWG読み込み]で、SHXフォントを指定した文字が「MS Pゴシック」で読み込まれる不具合を修正しました。 文字列の先頭が全角文字の場合に現象が発生していました。
Revit読み込み		
145	Revit連携の[Revitリンク入力]で壁の形状が正しく読み込めない	Revit連携の[Revitリンク入力]で[建築情報]タブ-[マテリアル色や透過率を再現する]にチェックを入れた時、壁の形状が正しく読み込めない不具合を修正しました。 以下の条件を満たす場合に現象が発生していました。 ・アゴ付き壁の様に1つの要素が複数のジオメトリで構成されている ・壁の要素色が単一色で設定されている
CG		
146	CGの[シーン]-[絞り込み]を行うと異常終了する	[CG]-[シーン]-[絞り込み]で、シーンを絞り込むと異常終了する不具合を修正しました。 以下の操作を行った場合に現象が発生していました。 ・[シーンの読み込み/保存]-[BCF形式ファイルの読み込み]でVer1.0のBCF形式ファイルを読み込む ・シーンの[追加]もしくは[編集]を行う ・[絞り込み]の[ステータス]にチェックを入れ、「空白」にチェックを入れてそれ以外の項目のチェックを外す

レイヤー		
147	ビューのコピーでレイヤーの表示状態が変わる	[ビューのコピー]で同じレイアウト内にビューを貼り付けた時、レイヤーの表示状態が正しくコピーされない場合がある不具合を修正しました。
148	[レイヤー一覧]で外部参照図面の[フロアの表示/非表示]を変更してもチェックが外れない	[レイヤー一覧]で、外部参照図面の[フロアの表示/非表示]を変更しても、フロアは非表示になるがチェックが外れない不具合を修正しました。
149	[フロアの表示/非表示]で外部参照グループを非表示にしても、新しく追加した外部参照が表示状態になる	[フロアの表示/非表示]で外部参照グループを非表示にしても、新しく追加した外部参照図面に反映されず表示状態になる不具合を修正しました。
レイアウト/ビュー		
150	[レイアウト・ビュー一覧]の[複写]で異常終了する	[表示]タブ-[レイアウト・ビュー一覧]で[複写]を行うと異常終了する不具合を修正しました。 [レイアウト・ビュー一覧]ダイアログで、任意のレイアウトを選択した後にダイアログ左下の[-]をクリックした場合に現象が発生していました。
151	[レイアウト・ビュー一覧]でレイアウトを移動してもレイアウトグループが切り替わらない	[表示]タブ-[レイアウト・ビュー一覧]で、カレントレイアウトを他のレイアウトグループに移動した時、レイアウトグループが切り替わらない不具合を修正しました。
配管		
152	[樹類の配置]で検索すると異常終了する	[樹類の配置]ダイアログの[検索]で、アロン化成の樹を検索して選択すると異常終了する不具合を修正しました。 コンクリート樹を選択している状態で[集管]タブに切り替え、「継手」を選択して検索した場合に現象が発生していました。
153	[部材の編集]でフランジを変更すると異常終了する	フランジのコンテキストメニュー[部材の編集]で、[編集対象]-「図面上の同じ部材すべて」を選択して[OK]で確定すると異常終了する不具合を修正しました。 フランジの対応サイズがなく、「？」マークで表示されたフランジが存在する場合に現象が発生していました。
154	[削除(形状維持)]で斜め方向の配管が発生する	機器と配管を接続した時、媒介のフランジのコンテキストメニュー[削除]-[削除(形状維持)]を行うと機器の接続口に斜め方向の配管が発生する不具合を修正しました。 機器と媒介のフランジの間にパッキンが存在する場合に現象が発生していました。
155	一部の[サイズの設定]がサイズ記入文字に反映されない	[設定]-[一般]タブ-[サイズ・名称記入]-[記入内容]-[配管]タブの[サイズの設定]が、サイズ記入文字のリンク項目[サイズ]に反映されない不具合を修正しました。「冷媒用銅管(2管式)」「冷媒用銅管(3管式)」で現象が発生していました。 [配管]タブ-[冷媒サイズの設定]-[「サイズ」を記入する時に冷媒サイズ記号を使用する]のチェックを外すと、[サイズの設定]の内容が反映します
156	樹脂製ヘッダー用バルブを移動すると向きが反転する	樹脂製ヘッダー用バルブをコネクターチーズ(異径タイプ)と接する様に接続した時、樹脂製ヘッダー用バルブを移動すると樹脂製ヘッダー用バルブの向きが反転する不具合を修正しました。 [配管]タブ-[流れの設定]で、[流れに沿って継手の向きを変更する]にチェックを入れた状態で流れ方向を変更した場合に現象が発生していました。 既に現象が発生している図面では現象が残ります。
157	選択していない排水金具・防虫網要素が配管と一緒に移動する	排水金具と接続しているルートを移動した時、選択していない排水金具も移動する不具合を修正しました。 平面ビューで、排水金具から続く横管を[選択した部分だけを変更する]のチェックが外れた状態で移動した場合に現象が発生していました。
158	英語版レプロの[一括接続]で冷媒サイズの設定ボタンが表示されない	英語版レプロで、設計モードの[配管]タブ-[一括接続]の[冷媒サイズの設定]ボタンを他のボタンと重ならない位置に変更しました。
ダクト		
159	特定のデータを定尺割りすると異常終了する	[加工]タブ-[角ダクト加工]-[定尺の編集]-[定尺割り]をすると異常終了する不具合を修正しました。 角ダクトが複数重なりあっている箇所が存在した場合に現象が発生していました。
160	[ダクト部材の配置]のT字分岐で[向き]が変更できない	[ダクト]タブ-[部材]-[分岐]タブ-[T字分岐]で、「単体」を選択した時に[向き]が変更できない不具合を修正しました。

161	ダクト端部に部材がある場合、風量を設定すると風量がマイナスの値になる	[ダクト]タブ-[風量の設定]で、ダクト端部に風量を設定した時、風量がマイナスになる部分が発生する不具合を修正しました。 作図後に枝の流れのみ反転したルートのダクト端部にニップルや金網がある場合に現象が発生していました。
162	機械側末端の選択したダクトに風量が設定できない	分岐のある経路の機械側末端のダクトを選択しても、選択したダクトに風量が設定されない不具合を修正しました。 器具側末端のダクトにドン付けの枝がある場合に現象が発生していました。
163	[圧力損失計算]-[ルート選択]で不要な区間が追加される	[シミュレーション]パネルの[圧力損失計算]-[ルート選択]で、選択範囲外の区間が追加される不具合を修正しました。 メイン側のダクトからドン付けでルートを取り出し、そのルートからさらにドン付けでルートを取り出した時、ドン付け部分の流れ方向が分流の場合に現象が発生していました。
配管/ダクト 共通		
164	図面で使用していない用途が削除できない	[配管][ダクト]タブ-[用途の設定]で、図面で使用していない用途を[削除]した時に「図面で使用されているため、削除できません」のメッセージが表示されて削除できない不具合を修正しました。 既に現象が発生している図面では現象が残ります。 ルートの[分割]を行い、分割したそれぞれのルートのレイヤーを他のレイヤーに変更した場合に、分割前のルートのレイヤーに設定されている用途が削除できなくなっていました。
図面記号/サイズ文字		
165	[汎用記号の記入]で、高さのパネル位置が変わる	[図形]タブ-[汎用記号の記入]のリボンの[部材の変更]で記号を選択し直すと「高さ」のパネル位置が変わる不具合を修正しました。
166	サイズ記入文字を移動する時にカーソルから離れる	サイズ記入文字の位置変更のハンドル(白)をクリックした時、サイズ記入文字がカーソルから離れる不具合を修正しました。 コンテキストメニュー[拡大]を行った場合に現象が発生していました。 [対称]-[対称移動]でも同様の現象がありました。 既に現象が発生している図面では、手動で位置を戻す必要があります。
電気		
167	パナソニック様の一部のメーカー提供部材で[部材の編集]を行うと異常終了する	パナソニック様のメーカー提供部材でコンテキストメニュー[部材の編集]を行うと異常終了する不具合を修正しました。 部材のプロパティ項目[部材情報]-[名称]が空欄の場合に現象が発生していました。
168	[貼り付け]すると電気配線の「曲がり半径」が0になる	別図面から[貼り付け]した時、電気配線の「曲がり半径」が0になる不具合を修正しました。 [電気]タブ-[敷設方法の設定]の内容によって現象が発生する場合があります。
169	バスダクトの端部の有意味点が選択できない	バスダクト部材と接続しているバスダクトの有意味点[バスダクトの端部]が選択できない不具合を修正しました。 バスダクトのプロパティ項目[材料]-[材料サブセット]が「共同カイテック」-「E-BD型絶縁バスダクト(屋外型・アルミ導体)」の場合に現象が発生していました。 [ツール]タブ-[プロパティ]-[プロパティの保存]-[保存項目の設定]ダイアログ-[部屋やゾーンをまたぐルートは、行を分けて保存する]にチェックを付けて保存すると差し込み代を含まない実長で保存されていた不具合も併せて修正しました。
170	電気配線の[移動]または[複写]で、記号と接続できない	記号と接続できる位置に電気配線を[移動]または[複写]した場合に、接続できない不具合を修正しました。 記号の複線部材がルミナスプランナーから選択した場合に現象が発生していました。
機器/器具		
171	[機器器具の配置]で[照度計算]を行うと応答なしになる	[機器器具]タブ-[機器器具の配置]で[照度計算]を行う時、[計算]をクリックするとレプロが応答なしになる不具合を修正しました。 非常用照明などの固有照明率が設定されていない照明器具を選択した場合に現象が発生していました。
建築		
172	[フロアの設定]で選択した基準フロアにならない	[建築]タブ-[フロアの設定]で「高さの基準」が選択したフロアにならない不具合を修正しました。 同じ高さのフロアが複数ある場合に現象が発生していました。

ツール		
173	[プロパティの保存]で値の出力されないプロパティが選択できる	[ツール]タブ-[プロパティ]-[プロパティの保存]で、値の出力されない[ケーブル(敷設)]-[全てのケーブル]が選択できる不具合を修正しました。 [システム管理]、[ツール]タブ-[器具リスト]でも同様の現象がありました。
データリンク		
174	データリンクの[Excelのセル位置指定]で一部のプロパティ項目が削除できない	[ツール]タブ-[データリンク]の[Excelのセル位置指定]で、[部材情報]カテゴリの単位付きのプロパティ項目が削除できない不具合を修正しました。 該当の単位付きのプロパティ項目を持つ部材を一度も使用していない状態で、該当項目のセルを定義後、該当のプロパティ項目を持つ部材を使用した場合に現象が発生していました。
拾い集計		
175	[拾い集計]で枝ダクトの表面積(芯々)が正しく集計されない	[ツール]タブ-[拾い集計]で、メイン側のダクトからドン付けで取り出したルートの表面積(芯々)が正しく集計されない不具合を修正しました。 枝側のルート上のダンパーがメイン側のダクトに接する位置に存在する場合に現象が発生していました。 [ツール]タブ-[プロパティ]-[プロパティの保存]、[アドイン]タブ-[みつもりくん連携][GyroEyeインサート連携]でも同様の現象がありました。
加工		
176	[単品図]で同じ形状のエルボが異なる要素として出力される	[加工]タブ-[単品図]で、同じ形状のエルボが異なる要素として出力される不具合を修正しました。 エルボを複数選択した時、プロパティ項目[ダクト形状]-[角度]が空欄の要素で現象が発生していました。
アドイン		
177	[Catenda HubからIFCを開く]で一部のモデルが読み込めない	Catenda Hub連携の[Catenda HubからIFCを開く]で、IFCファイルが読み込めない不具合を修正しました。 Catenda Hubのモデル名に「*」などのWindowsの禁則文字を使用した場合に現象が発生していました。
部材の修正		
178	配管のサイズを変更すると「?」マークの継手が発生する	[配管]タブ-[継手]-[ポリエチレン管用継手]-[サイフォン式雨水排水システム(雨水ハイパーRD)-積水化学工業]の「アウトレット」-「50」と接続したルートのサイズを「50」から「75」に変更した時、「?」マークの継手が発生する不具合を修正しました。
179	配管作図時に一部の継手が自動で呼び出されない	[配管][ダクト]タブ-[材料の設定]の[材料サブセット]タブ-[使用する継手、ダクト局部]の「配置方法」で、「チーズ」内の一番上に設定しても、優先して作図できない不具合を修正しました。 [配管]タブ-[継手]-[ポリエチレン管用継手]-「水道用ポリエチレン管EF継手」、「水道用耐震型高性能ポリエチレン管継手(エスロハイパーAW)-積水化学工業」の下記部材で現象が発生していました。 【該当部材】 ・「チーズ」-「EFロング枝付チーズ」(6点)、「EFロング枝付異径チーズ」(3点) 併せて、作図時に「EFロング枝付チーズ」、「EFロング枝付異径チーズ」が優先される「ポリエチレン管」の材料サブセット「エスロハイパーAW+EF継手(ロングチーズ優先)」を追加しました。 初回起動時:PCの設定に自動追加します。同名が存在する場合、(2)と別名で追加されます。 Rebro2023(Rev.11)より前の図面:図面に自動追加します。同名が存在する場合、(2)と別名で追加されます。
180	一部の継手の名称に誤りがある	[配管]タブ-[継手]-[ポリエチレン管用継手]-「空調配管用高性能ポリエチレン管継手(クウチョウハイパーCH)-積水化学工業」の下記部材の名称誤りを修正しました。 Rebro2023(Rev.11)以前のレプロで作図した図面をRebro2024で開いた場合、下記修正内容で更新されます。 ・「チーズ」-「SPフランジ付チーズ(JIS10K)」-「F形 JIS10K SS400」 ・「EFフランジ短管」-「F形 JIS10K SS400」
その他		
181	要素名の誤字を修正しました	要素名の「排水金具・防虫網」の「網」を「網」に修正しました。 要素名変更に伴い、下記の[対象要素]-「排水金具・防虫網」のチェックの状態が出荷値に変更されます。 [検索]パネル、[ホーム]タブ-[図面の切り出し]、[ツール]タブ-[図面の比較]、[図面マーカー]パネル-[マーカーの一括追加]